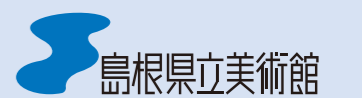
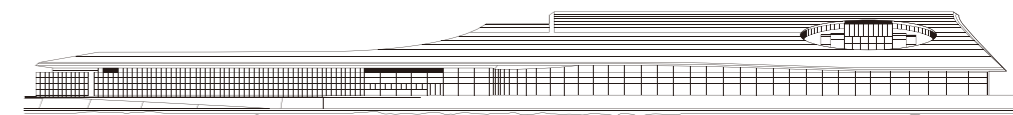


島根県立美術館のあゆみ

2009-2014



SHIMANE ART MUSEUM

島根県立美術館のあゆみ 2009-2014

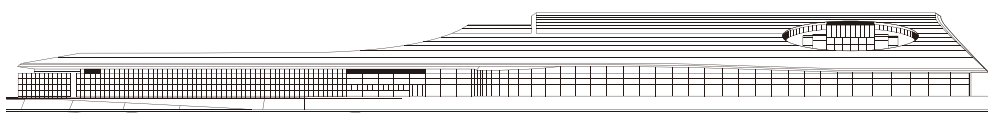
島根県立美術館



SHIMANE ART MUSEUM

島根県立美術館のあゆみ

2009-2014





穴道湖畔の景観と敷地のもつ活力を、ゆるやかに大地が隆起する連続したイメージで表現。
湖畔公園と敷地のもつ特徴を生かした形で、調和の中に豊かな表情を創る。

建築家

きく たけ きよ のり
菊竹清訓
(1928(昭和3)年
-2011(平成23)年)

福岡県生まれ。1950年早稲田大学工学部建築学科卒業。1953年、25歳で菊竹建築研究所を設立。ブリヂストンタイヤの創業者・石橋正二郎からの依頼で石橋文化センターの設計を行う。1958年、生活空間を自由に組み替える自宅「スカイハウス」を世に送る。1958年から“海上都市”を構想し、1960年代に新陳代謝する建築や都市を追求するメタボリズム論を提唱する。また、「か(構想)・かた(技術)・かたち(形態)」の設計理論を展開した。2000年のユーゴスラヴィア・ビエンナーレで「今世紀を創った世界建築家の100人」の一人に選ばれる。

ごあいさつ

長谷川 三郎

島根県立美術館長

開館 10 周年を経て当館は次の節目の時代へと歩を進めました。その後の 5 年間は、開館以来の活動の評価と反省の上に立って、美術館の新たな未来像へと向かう歩みでなければなりません。華々しい出発と新生の力に依存した時代から、内省に根差す着実な活動の日々への移行が求められたのです。例えば、対外的にはきめ細かい美術館教育の実践に留まらず、美術館利用に関して社会的弱者である人々への対応に配慮した活動などを挙げるすることができます。また内への眼差しとしては、所蔵作品のドキュメンテーション作業や IPM による保存環境の整備などがありました。

豊かなコレクションの形成を目指す収集活動と魅力ある企画展の開催は、重要な美術館活動の両輪であることは言うまでもありません。コレクションは、2009 年度に長沢蘆雪の六曲一双屏風を購入しましたが、その後は財政上の理由から積極的な収集活動を進めることは出来ませんでした。けれども、人間国宝の陶芸家・原清氏(1936～)からのまとまった作品のご寄贈を始めとして、作家やそのご遺族、あるいはご所蔵家のご好意によって、コレクションは緩やかながら着実に成長を続けています。

この 5 年間では、何よりも 2011 年の「3.11 東日本大震災」を忘れることは出来ません。悲惨な災害に見舞われた被災地から遠く隔たった山陰地方ですが、大震災の余波は当館の活動にも影響を及ぼしました。秋に予定していた「マルセイユ美術館展」が中止のやむなきに至り、急遽、愛知県美術館の協力を得て同館コレクションによる「ふらんす物語」展を代替展として開催しました。

一方、2012(平成 24)年は「古事記編纂 1300 年」、2013 年は出雲大社「平成の大遷宮」に当たり、島根県は 2010 年から 2013 年までの期間、「神々の国しまね」プロジェクトを展開しました。当館はこの間「民藝」、「出雲阿国」そして「ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ」の展覧会を何れもプロジェクトの一環として企画開催しました。

また毎年恒例となりつつあるコレクション企画展は毎回新たな発見があり、常設のコレクション展示とは異なった魅力が注目されるようになって来ました。コレクションの意義がより多くの人々に理解されるようになれば幸いです。

ここに開館後 11 年から 15 年までの 5 年間の活動概要をまとめて報告し、島根県立美術館に対する皆さまのご理解を仰ぎ、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。



白地または淡色地の場合：
マーク：ブルー (DIC183)
ロゴ：スミもしくはスミ1C



黒地または濃色地の場合：
白ヌキ

シンボルマークのイメージについて

○水のイメージ ○宍道湖のイメージ ○島根 (Shimane) のSの形状から ○美術館の建物の形状から

制作者

た なか いっ こう
田 中 一 光
(1930(昭和5)年
-2002(平成14)年)

奈良県生まれ。1950年京都市立美術専門学校(現・京都芸大)卒業。1960年日本デザインセンター創立に参加。1963年田中一光デザイン室主宰。日宣美会員賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ銀賞、毎日デザイン賞、芸術選奨文部大臣新人賞、ニューヨークADC金賞、東京ADC会員最高賞、毎日芸術賞、日本文化デザイン大賞、TDC会員金賞、朝日賞、第一回亀倉賞などを受賞。N.Y.及び東京ADC殿堂入り、紫綬褒章受章、文化功労者表彰。

目 次

○ごあいさつ	3
○シンボルマークについて	4
○事業内容・経緯・組織図	6
○事業	
コレクション展	8
企画展	12
教育普及	29
○その他	
活動データ	
入館者の状況	35
予算概要	38
作品収集状況	40
ミュージアムパスポート会員の入会状況	41
指定管理業務	42
ギャラリー利用状況	44
建築設備 他	
フロア構成・部門別面積表	45
建築設備概要	46
利用案内	49

凡例：

・各事業報告の文中に出てくる講師等の肩書きは、事業が行われた当時のものです

■ 事業内容・経緯・組織図

島根県立美術館は、「県民に開かれた美術館」、「芸術活動を育成する美術館」、「水と調和する美術館」の3つを基本的な性格として平成11年3月に開館いたしました。宍道湖畔の絶好のロケーションをもつ当館は、21世紀の新たな文化拠点として、芸術の振興と発展に寄与していきます。

事業内容

1、展示公開

幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また主に収蔵作品による常設展示を行います。

2、収集保存

絵画、版画、写真、工芸、彫刻等、各分野の優れた作品を収集します。特に次の領域に重点をおいて収集を行います。

- (1) 水を画題とする絵画
- (2) 日本の版画
- (3) 国内外の写真
- (4) 木を素材とした彫刻
- (5) 島根の美術

3、調査研究

美術作品の学術的研究、ならびに作品の展示・保存や、教育普及などに関する専門的な調査研究を行います。

4、教育普及

展覧会に関連する講演会や創作講座のほか、美術図書の公開などさまざまな活動を行います。また自由な作品発表の場を提供します。

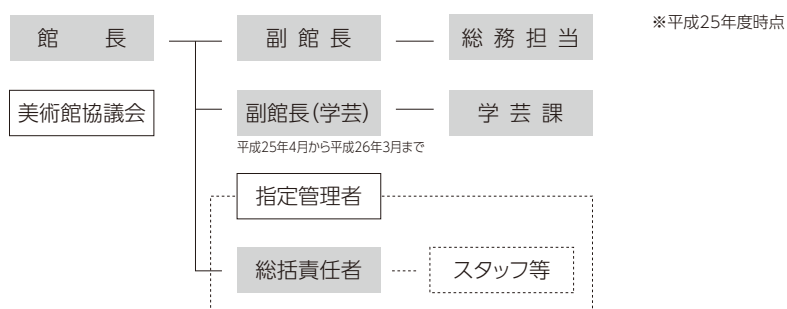
5、美術情報の提供

収蔵作品の情報や、県内外の展覧会情報などを公開します。また、インターネット等の情報通信網を整備し美術情報の交流拠点とします。

経 緯

平成 3年 1月	博物館整備検討委員による「博物館整備に関する提言」提出
平成 3年 11月	「文化施設整備基本方針」発表
平成 6年 2月	島根県立美術館基本構想制定
平成 6年 10月	島根県立美術館建設委員会設置
平成 6年 11月	設計競技参加10者を選定
平成 7年 4月	美術館建設室設置 ㈱菊竹清訓建築設計事務所案を設計競技の最優秀作品に決定
平成 8年 10月	建設着工
平成 10年 6月	本体工事竣工
平成 11年 3月6日	開館

組 織 図



コレクション展

COLLECTION GALLERY





ハーバート・ヒュー＝スタントン
《暁の松江、大山を遠くに望む》



矢田清四郎《築地松風景》



清水九兵衛《マケット》



長澤蘆雪《象と牛図》



〈平成 21 年度〉 2009.4 ~ 2010.3

展示室 1 〈絵画〉	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	4月15日(休) ~ 5月25日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	5月27日(休) ~ 7月13日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	7月15日(休) ~ 8月31日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	9月 2日(休) ~ 10月19日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	10月21日(休) ~ 11月23日(休祝)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	11月25日(休) ~ 1月18日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	1月20日(休) ~ 3月 8日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	3月10日(休) ~ 4月19日(休)
	近現代洋画の諸相I(日本洋画)	4月15日(休) ~ 7月13日(休)
	近現代洋画の諸相II(日本洋画)	7月15日(休) ~ 10月19日(休)
	油彩画の表現と技法(日本洋画)	10月21日(休) ~ 1月18日(休)
	描かれた自然・人・動物(日本洋画)	1月20日(休) ~ 4月19日(休)
	コロ、クールベ...水辺へのまなざし(西洋絵画)	5月27日(休) ~ 8月24日(休)
	色彩の饗宴(西洋絵画)	8月26日(休) ~ 12月 7日(休)
	自然を見つめて(西洋絵画)	12月 9日(休) ~ 4月19日(休)
展示室 2 〈版画〉	浮世絵のなかの動物たち	4月 1日(休) ~ 4月27日(休)
	北斎×広重-風景版画傑作選-	4月29日(休祝) ~ 6月 1日(休)
	美人画の系譜-描かれた江戸の美意識-	6月 3日(休) ~ 7月 6日(休)
	江戸から明治へ-開化絵と清親	7月 8日(休) ~ 8月 3日(休)
	新版画の夢	8月 5日(休) ~ 9月 7日(休)
	創造と表現-創作版画	9月 9日(休) ~ 10月12日(休祝)
	版画にみる春夏秋冬	10月14日(休) ~ 11月16日(休)
	銅版画 魅惑のマチエール	11月18日(休) ~ 12月14日(休)
	木の中の物語	12月16日(休) ~ 1月25日(休)
	<線・ドラマ>池田満寿夫と山本容子	1月27日(休) ~ 3月 8日(休)
展示室 3 〈工芸〉	小さな版画	3月10日(休) ~ 4月12日(休)
	松平不昧が育んだ出雲の美	4月22日(休) ~ 7月13日(休)
	出雲焼-輸出陶器の時代	7月15日(休) ~ 10月19日(休)
展示室 4 〈写真〉	しまねの工芸	10月21日(休) ~ 1月18日(休)
	河井寛次郎の陶芸	1月20日(休) ~ 4月19日(休)
展示室 5 〈彫刻・小企画〉	異郷憧憬	5月21日(休) ~ 8月24日(休)
	空(くう)-何も無いという豊かさ	8月27日(休) ~ 12月14日(休)
展示室 5 〈彫刻・小企画〉	枠(フレーム)-切り取る楽しさ	12月17日(休) ~ 4月 5日(休)
	清水九兵衛 マケットの魅力	6月 3日(休) ~ 8月17日(休)
	腐蝕銅版画の世界-新収蔵 中林忠良を中心に	8月20日(休) ~ 10月 5日(休)
	木を彫る!!-写実、抽象の造形美-	10月 7日(休) ~ 1月25日(休)
	オブジェの魅力	1月27日(休) ~ 5月10日(休)

〈平成 22 年度〉 2010.4 ~ 2011.3

展示室 1 〈絵画〉	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	4月21日(休) ~ 5月24日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	5月26日(休) ~ 7月12日(休)
	日本画優品選(文人画特集)(日本画)	7月14日(休) ~ 8月30日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	9月 1日(休) ~ 10月18日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	10月20日(休) ~ 11月23日(休祝)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	11月25日(休) ~ 1月17日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	1月19日(休) ~ 3月 7日(休)
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	3月 9日(休) ~ 4月18日(休)
	日本近代洋画選1 風景画を中心に(日本洋画)	4月21日(休) ~ 7月12日(休)
	日本近代洋画選2 人物画を中心に(日本洋画)	7月14日(休) ~ 10月18日(休)
	郷土ゆかりの洋画家たち1(日本洋画)	10月20日(休) ~ 1月17日(休)
	郷土ゆかりの洋画家たち2(日本洋画)	1月19日(休) ~ 4月18日(休)
	コレクションでたどるフランス近代絵画の流れ(西洋絵画)	4月21日(休) ~ 8月16日(休)
	水とともに(西洋絵画)	8月18日(休) ~ 11月29日(休)
	展示室 2 〈版画〉	物語る絵画(西洋絵画)
最後の浮世絵師 小林清親		4月14日(休) ~ 5月17日(休)
芸術としての版画 大正・昭和初期		5月19日(休) ~ 6月14日(休)
山陰風景 自然へのまなざし		6月16日(休) ~ 7月19日(休祝)
版画家 池田満寿夫		7月21日(休) ~ 8月23日(休)
版画の表現技法 銅版画		8月25日(休) ~ 9月27日(休)
白と黒の魅力		9月29日(休) ~ 10月25日(休)
葛飾北斎-掬物の変奏-		10月27日(休) ~ 11月23日(休祝)
歌川派~豊春から広重、国芳まで		11月25日(休) ~ 12月27日(休)
広重の江戸名所絵-(名所江戸百景)を中心に		1月 2日(休) ~ 1月31日(休)
展示室 3 〈工芸〉	浮世絵◇雪景色	2月 2日(休) ~ 3月 7日(休)
	英泉・広重の《木曾海道六拾九次》	3月 9日(休) ~ 4月 4日(休)
	松平不昧と茶の湯	4月21日(休) ~ 5月31日(休)
	出雲のやきもの	6月 2日(休) ~ 8月30日(休)
	河井寛次郎の仕事	9月 1日(休) ~ 11月29日(休)
	意匠を楽しむ	12月 1日(休) ~ 3月28日(休)
	松平不昧と出雲の工芸	3月30日(休) ~ 6月20日(休)
	アメリカの世紀	4月 8日(休) ~ 7月 5日(休)
	写真神話SANIN	7月 8日(休) ~ 10月 4日(休)
	モダン・フォトグラフィ	10月 7日(休) ~ 1月10日(休祝)
展示室 4 〈写真〉	男と女	1月13日(休) ~ 4月 4日(休)
	李 禹煥の点と線	5月12日(休) ~ 6月21日(休)
	森山大道 サンパウロ×ベニス×アイルス	6月24日(休) ~ 9月27日(休)
	鮮烈なる色彩 小泉清	9月30日(休) ~ 12月13日(休)
	石見美術館コレクション 森鷗外と交友の美術家たち(平成22年度地域活性化のための芸術文化連携事業として開催)	12月16日(休) ~ 3月14日(休)
展示室 5 〈彫刻・小企画〉	近・現代の木彫-素材を活かす技術-	3月17日(休) ~ 6月13日(休)



加藤景雲《軍鶏》



塩谷定好《村の鳥瞰》



秋山陽《無題 T-0812》



原清《鉄袖馬文大壺》



宮廻正明《天水(雲)》

〈平成 23 年度〉 2011.4 ~ 2012.3

展示室 1	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	4月20日(休) ~ 5月30日(月)	
〈絵画〉	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	6月 1日(休) ~ 7月11日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	7月13日(火) ~ 8月22日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	8月24日(水) ~ 10月 3日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	10月 5日(水) ~ 11月14日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	11月16日(水) ~ 1月 9日(月・祝)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	1月11日(水) ~ 2月20日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	2月22日(水) ~ 4月 2日(月)	
	日本近代洋画の展開1(日本洋画)	4月20日(水) ~ 7月11日(月)	
	日本近代洋画の展開2(日本洋画)	7月13日(水) ~ 10月17日(月)	
	画家たちの交友録(日本洋画)	10月19日(水) ~ 1月23日(月)	
	具象と抽象(日本洋画)	1月25日(水) ~ 4月23日(月)	
	水辺に憧れて(西洋絵画)	4月13日(水) ~ 7月11日(月)	
	フランス近代絵画の世界へようこそ(西洋絵画)	7月13日(水) ~ 10月17日(月)	
色彩の遊れ-印象派からフォーヴィスムまで-(西洋絵画)	10月19日(水) ~ 1月23日(月)		
[写真]の魅力(西洋絵画)	1月25日(水) ~ 4月23日(月)		
展示室 2	浮世絵“花”爛漫	4月 6日(水) ~ 5月 9日(月)	
	〈版画〉	歌川広重の《東海道五拾三次》	5月11日(水) ~ 6月13日(月)
		浮世絵・ものしり語録	6月15日(水) ~ 7月11日(月)
		水のある風景 運一・一磨	7月13日(水) ~ 8月15日(月)
		創作版画の粋 榛の会	8月17日(水) ~ 9月19日(月・祝)
		現代版画I 小林敬生ほか	9月21日(水) ~ 10月31日(月)
		現代版画II 横尾忠則ほか	11月 2日(水) ~ 12月19日(月)
		版画家・伊東深水 浮世絵から学んだもの	12月21日(水) ~ 1月30日(月)
		浮世絵・美人画名品選	2月 1日(水) ~ 3月 5日(月)
		浮世絵にみる江戸の暮らし	3月 7日(水) ~ 4月 9日(月)
河井寛次郎と民芸の仲間たち		6月22日(水) ~ 10月 3日(月)	
展示室 3	出雲・布志名焼-輸出陶器の時代	10月 5日(水) ~ 1月16日(月)	
	〈工芸〉	島根の漆芸-明治・大正期を中心に-	1月18日(水) ~ 4月16日(月)
		杉本博司展	4月 7日(水) ~ 8月 1日(月)
フランスの写真		8月 4日(水) ~ 11月14日(月)	
展示室 4	美しき女たち	11月17日(水) ~ 2月 6日(月)	
	〈写真〉	オマー・ジュ・昭和	2月 9日(水) ~ 4月15日(月)
		橋本明治-師・松岡映丘の薫陶を受けて-	6月16日(水) ~ 7月31日(日)
展示室 5		彫刻とマテリアル1	8月 3日(水) ~ 10月10日(月・祝)
	〈彫刻・小企画〉	近世山陰画壇の雄 堀江友聲	10月13日(水) ~ 11月28日(月)
		彫刻とマテリアル2	12月 1日(水) ~ 2月27日(月)
		石見美術館コレクション ファッションの20世紀(平成23年度地域活性化のための芸術文化連携事業として開催)	3月 1日(水) ~ 4月16日(月)

〈平成 24 年度〉 2012.4 ~ 2013.3

展示室 1	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	4月 4日(水) ~ 5月21日(月)	
〈絵画〉	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	5月23日(水) ~ 7月 2日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	7月 4日(水) ~ 8月20日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	8月22日(水) ~ 10月 1日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	10月 3日(水) ~ 11月19日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	11月21日(水) ~ 1月 7日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	1月 9日(水) ~ 2月25日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	2月27日(水) ~ 4月 8日(月)	
	描く人、描かれる人-黒田清輝から郷土の画家まで(日本洋画)	4月25日(水) ~ 8月20日(月)	
	水辺の風景・山陰の風景(日本洋画)	8月22日(水) ~ 12月 3日(月)	
	独立美術協会と昭和の洋画界(日本洋画)	12月 5日(水) ~ 4月22日(月)	
	コロ-、クールベ、モネ...水辺を愛した画家たち(西洋絵画)	4月25日(水) ~ 8月20日(月)	
	人を描く、風景を描く(西洋絵画)	8月22日(水) ~ 12月 3日(月)	
	風景画の変容-バルビゾン派、印象派からフォーヴィスムまで-(西洋絵画)	12月 5日(水) ~ 4月22日(月)	
展示室 2	広重が描いた東海道	4月11日(水) ~ 5月14日(月)	
	〈版画〉	広重の諸国名所絵	5月16日(水) ~ 6月18日(月)
		長崎版画と開化期の浮世絵	6月20日(水) ~ 7月30日(月)
		浮世絵☆動物園	8月 1日(水) ~ 9月 3日(月)
		山本容子 軽やかな線の魅力	9月 5日(水) ~ 10月15日(月)
		平塚運一 I 都市がもつ表情	10月17日(水) ~ 11月26日(月)
		平塚運一 II 裸婦像の追求	11月28日(水) ~ 1月 7日(月)
		平塚運一 III アメリカに新境地を得て	1月 9日(水) ~ 2月18日(月)
		現代版画 オノサト×草間	2月20日(水) ~ 4月 1日(月)
		松平不昧と出雲の茶道文化	4月18日(水) ~ 6月18日(月)
島根のやきもの		6月20日(水) ~ 10月29日(月)	
展示室 3	漆工芸の美	10月31日(水) ~ 3月18日(月)	
	〈工芸〉	出雲の茶道文化	3月20日(水・祝) ~ 6月17日(月)
		ロバート・フランク/ウィリアム・クライン/森山大道	4月18日(水) ~ 7月30日(月)
ベルナルド・フォコン		8月 2日(水) ~ 10月15日(月)	
展示室 4	ピクトリアリスム	10月18日(水) ~ 1月14日(月・祝)	
	〈写真〉	動物・風景 + 追悼 東松照明	1月17日(水) ~ 4月15日(月)
		受贈記念 原清陶芸展	4月20日(水) ~ 6月25日(月)
清水九兵衛のマーケット		6月28日(水) ~ 9月10日(月)	
展示室 5	遠藤利克	9月13日(水) ~ 1月 7日(月)	
	島根の木彫	1月10日(水) ~ 4月22日(月)	



大谷欽到《四季草花時絵裏》



和田英作《薔薇》



堀江有聲《春秋花鳥図》

〈平成 25 年度〉 2013.4 ~ 2014.3

展示室 1	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	4月10日(休) ~ 5月27日(月)	
〈絵画〉	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	5月29日(休) ~ 7月15日(休)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	7月17日(休) ~ 9月 2日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	9月 4日(休) ~ 10月21日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	10月23日(休) ~ 11月25日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	11月27日(休) ~ 1月20日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	1月23日(休) ~ 3月10日(月)	
	日本画優品選(四季を愉しむ)(日本画)	3月12日(休) ~ 4月21日(月)	
	近代洋画の名品(日本洋画)	4月24日(休) ~ 8月19日(月)	
	絵の中のアイドルたち—描かれた子どもと動物(日本洋画)	8月21日(休) ~ 12月 2日(月)	
	「いろ・かたち」とあそぶ(日本洋画)	12月 4日(休) ~ 4月 7日(月)	
	水辺を描いた画家たち(西洋絵画)	4月24日(休) ~ 8月19日(月)	
	人物を描く—歴史画・風俗画・肖像画(西洋絵画)	8月21日(休) ~ 12月 2日(月)	
	色彩の魅力—フォーヴィスムを中心に(西洋絵画)	12月 4日(休) ~ 4月 7日(月)	
展示室 2	浮世絵のなかの花	4月 3日(休) ~ 5月 6日(休)	
	〈版画〉	広重の江戸名所絵	5月 8日(休) ~ 6月10日(月)
		異国をみつめて—長崎版画と浮絵	6月12日(休) ~ 7月15日(休)
		池田満寿夫の天使たち	7月17日(休) ~ 8月26日(月)
		小さな宇宙*木口木版	8月28日(休) ~ 10月 7日(月)
近代版画にみる美人画☆役者絵	10月 9日(休) ~ 11月18日(月)		
創作版画家たちの年賀状	11月20日(休) ~ 1月 6日(月)		

現代版画 李禹煥	1月 8日(休) ~ 2月17日(月)		
広重・英泉の木曾海道六拾九次	2月19日(休) ~ 3月24日(月)		
浮世絵のなかの水辺	3月26日(休) ~ 5月 6日(休)		
展示室 3	河井寛次郎	6月19日(休) ~ 9月30日(月)	
	〈工芸〉	島根の工芸	10月 2日(休) ~ 1月 6日(月)
島根の近代陶芸(輸出陶器から民芸)		1月 8日(休) ~ 4月14日(月)	
展示室 4	植田正治とその時代 生誕100年	4月18日(休) ~ 7月29日(月)	
	〈写真〉	奈良原一高 ヨーロッパ・静止した時間	8月 1日(休) ~ 11月11日(月)
黒の魅惑		11月14日(休) ~ 2月24日(月)	
写真と絵画		2月27日(休) ~ 6月30日(月)	
不味の茶		4月25日(休) ~ 6月24日(月)	
展示室 5	〈彫刻・小企画〉	青木世一 —ベニヤから広がる世界	6月27日(休) ~ 9月30日(月)
		浮世絵にみる江戸のアイドル—美人画と役者絵	10月 3日(休) ~ 11月10日(月)
		現代の彫刻—かたちをもとめて	11月13日(休) ~ 2月17日(月)
		生誕130年記念 小村大雲	2月20日(休) ~ 3月31日(月)



小茂田青樹《デッサン松江市外》



三原研《炆器花器》



小林敬生《漂泊-NO.4-》

企画展

SPECIAL EXHIBITION



〈平成 21 年度〉 2009.4 - 2010.3

山陰放送開局55周年記念 吉村作治の新発見! エジプト展 ~国立カイロ博物館所蔵品と~

■ 2009年 6月10日[水]~7月26日[日]

主 催 / 山陰放送、島根県立美術館、SPSしまね

孤高の日本画家 橋本関雪展 ~中国への憧れ、動物に向けるまなざし~



■ 2009年 8月5日[水]~9月14日[月]

京都近代日本画の巨匠橋本関雪の15年振りに開催された大規模な回顧展。文展、帝展に出品された大作を中心にその代表作55点を展示した。時代により題材・作風を大きく変化させた作品群を、描かれたテーマで分けて紹介。デッサン、下図、制作道具・印章などの遺品も紹介し、格調高い関雪芸術の全貌に迫る充実した内容となった。

主 催 / 島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、SPSしまね

観 覧 者 数 / 15,398人 (開催日数36日)

記念講演会 / 「京都画壇と橋本関雪」〈講師〉島田康寛、(立命館大学文学部教授・美術評論家) 8月23日(日)

ギャラリートーク / 担当学芸員による展示解説。会期中5回。サンセットギャラリートーク—会期中2回。

主な関連イベント / 「落款印の魅力に触れる」8月30日(日)、「ペットミニ写真展」(会期中)、「ファミリーデー」8月9日(日)、9月6日(日)

主な展示作品 / 橋本関雪〈南国〉姫路市立美術館蔵、〈意馬心猿〉京都国立近代美術館蔵、〈唐犬図〉大阪市立美術館蔵



会場風景

出光美術館所蔵 桃山・江戸の美 —百花繚乱の近世美術—



■ 2009年 10月1日[木]~11月9日[月]

絢爛豪華な狩野派の金碧障屏画をはじめ、琳派、肉筆浮世絵、文人画、茶の湯の美術など、多彩な魅力に溢れる桃山・江戸の美術を、国内屈指の近世美術コレクションを誇る出光美術館の名品82点により紹介した。

主 催 / 島根県立美術館、日本海テレビ、SPSしまね

観 覧 者 数 / 18,824人 (開催日数35日)

記念講演会 / 「松平不昧の茶道具—雲州蔵帳をひも解く」〈講師〉武内範男(元畠山記念館主任学芸員) 10月11日(日)

「桃山・江戸の風俗画について—阿国歌舞伎図をめぐって」〈講師〉黒田泰三(出光美術館学芸部長) 10月25日(日)

ギャラリートーク / 担当学芸員による展示解説。会期中4回。

主な関連イベント / 「茶花—やさしい茶花の入れ方」10月10日(土)、出光興産コンサート「Music in Museum by 出光 ~あこがれの、桃山~」10月4日(日)、「ファミリーデー」11月3日(火・祝)

主な展示作品 / 俵屋宗達・鳥丸光広〈西行物語絵巻〉、葛飾北斎〈鐘馗騎獅図〉、《黒褐袖四耳壺 銘:羽衣》いずれも出光美術館蔵



会場風景

第42回 島根県総合美術展 〈県展〉

■ 2009年 11月21日[水]～11月29日[金]

主 催／島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第56回 日本伝統工芸展 ～人間国宝から新進作家まで～



■ 2009年 12月9日[水]～12月25日[金]

本展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。8回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)41名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家14名の入選作品を含む290点を展示した。

主 催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、島根県文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、(社)日本工芸会

観 覧 者 数／8,013人(開催日数17日)

記念講演会／「陶芸への道 ～白磁は、形そのものが文様～」〈講師〉

井上萬二(「白磁」重要無形文化財保持者)12月13日(日)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。〈講師〉山口松太(漆芸)、岩瀬なほみ(人形)、井上萬二(陶芸)、福井禎(染織)、川北浩彦(木竹工)、渡邊明(諸工芸)

主な関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」〈講師〉長岡空郷(陶芸作家)12月11日(金)、子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(しっぽう)」〈講師〉松本三千子(七宝作家)12月16日(水)

鑑賞ガイド
「もようを考える」

島根県立美術館10周年記念コレクション企画展 浮世絵遊覧



■【前期】2010年 1月 2 日[土]～1月24日[日]

【後期】2010年 1月27日[水]～2月15日[月]

前期と後期にわたり、当館の浮世絵コレクション約350点を展示。前期は《富嶽三十六景》をはじめとする葛飾北斎の特集、後期は《東海道五拾三次之内》全55点を中心に歌川広重の画業全体にスポットを当てた。鈴木春信、喜多川歌麿、長崎版画等、当館の浮世絵コレクションの全体像を紹介する初めての展覧会となった。

主 催／島根県立美術館、日本海テレビ、NHK松江放送局、SPSしまね

観 覧 者 数／22,907人(開催日数38日)

記念講演会／「北斎の芸術」〈講師〉永田生慈(葛飾北斎美術館館長)1月11日(月・祝)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中4回。

主な関連イベント／「浮世絵の摺・実演」1月31日(日)、美術講座「浮世絵のたのしみ」〈講師〉大森拓士(当館主任学芸員)1月17日(日)、「ミュージアム・フェスティバル(全館無料開放日)」2月7日(日)

主な展示作品／葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》、歌川広重《名所江戸百景 亀戸梅屋舗》いづれも島根県立美術館蔵



図録



会場風景

ピーターラビット®の生みの親 ビアトリス・ポター™展 ―イギリスの自然を見つめて―



■ 2010年 3月5日[金]～4月12日[月]

世界中の子どもたちから愛され続ける絵本『ピーターラビットのおはなし (TM)』の作者であり、農業生活や自然保護運動の推進者でもあったビアトリス・ポターの展覧会。本展では、絵本作家としてのビアトリス・ポターばかりでなく、これまであまり知られてこなかった、優れた動植物画や風景画にも光をあて、貴重な資料の数々とともに紹介した。

主催 / 島根県立美術館、山陰中央テレビ、SPSしまね

観覧者数 / 24,369人 (開催日数34日)

ギャラリートーク / 担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント / 「ビアトリス・ポターに挑戦しよう」3月13日(土)、27日(土)、映画上映会「ミス・ポター」(託児サービス付)3月14日(日)、「ピーターラビットがやってくる」3月20日(土)、21日(日・祝)、22日(月・振替)、春の感謝祭3月28日(日)、映画上映会「英国ロイヤル・バレエ団 ピーターラビットと仲間たち」と「キッズルーム」、4月4日(日)

主な展示作品 / ビアトリス・ポター《ヤマイグチ属のキノコ2種》ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵《「こぶたのビグリン・ブランドのおはなし」(ビグリン・ブランドとアレクサンダー)》ヴィクトリア アンド アルバート美術館蔵、《ヒルトップの玄関にいるピーターラビットとベンジャミン》フレデリック・ウォーン社蔵



オープニング・ギャラリートークのようす

〈平成 22 年度〉 2010.4 - 2011.3

中右コレクション 四大浮世絵師展 ～写楽・歌麿・北斎・広重



■ 2010年 4月21日[水]～5月26日[水]

浮世絵の芸術性は早くから国際的に評価され、その斬新な構図や色彩、的確で簡潔な描写は、西欧画家にも清新な刺激を与えた。本展では、“四大”浮世絵師に挙げられる、東洲斎写楽・喜多川歌麿・葛飾北斎・歌川広重の名品を一堂に展示。今なお世界中の人々を魅了しつづける、四巨匠の夢の競演をご堪能いただいた。

主催 / 島根県立美術館、山陰中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまね

観覧者数 / 19,893人 (開催日数32日)

記念講演会 / 「写楽研究の最前線」(講師) 浅野秀剛 (大和文華館館長) 4月25日(日)

ギャラリートーク / 担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント / 「オープニング・ギャラリートーク」

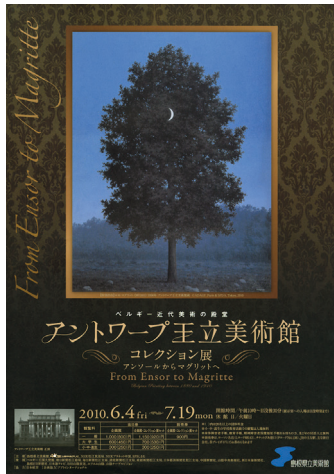
〈講師〉中右瑛 (国際浮世絵学会常任理事、本展監修者) 4月21日(水)、「ナイトミュージアム・the 怪談」5月7日(金)、映画上映会「写楽」5月9日(日)、「浮世絵・摺順スタンプコーナー」(会期中)

主な展示作品 / 東洲斎写楽《嵐龍蔵の金貨石部金吉》、喜多川歌麿《青楼三美人》、葛飾北斎《百物語》いずれも中右コレクション



鑑賞ガイド「浮世絵物知双六」

ベルギー近代美術の殿堂 アントワープ王立美術館コレクション展 ～アンソールからマグリットへ～



■ 2010年 6月4日[金]～7月19日[月・祝]

ベルギー北部の中心都市アントワープにある王立美術館の近代美術コレクションを紹介。ベルギー近代美術の3大巨匠、マグリット、デルヴォー、アンソールをはじめ、19世紀後半から第二次大戦前後までのベルギー近代絵画70点を展示した。同館の近代美術コレクションがまとまって公開されるのは本邦初。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、NHK松江放送局、NHKプラネット中国、SPSしまね

観覧者数／16,056人(開催日数40日)

記念講演会／「ベルギー 歴史文化の華麗なる諸相」〈講師〉小川秀樹(岡山大学教授)6月13日(日)ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回。

主な関連イベント／映画上映会「劇場版アニメ／フランダースの犬」6月27日(日)、「マグネットでマグリット」6月5日(土)、6日(日)、藤田嗣治《アントワープ港の眺め》特別展示(コレクション展示室)4月21日(水)～7月12日(月)、ロビーコンサート「サクスの魅力」6月20日(日)、ロビーコンサート「セタチェンバロコンサート」7月4日(日)

主な展示作品／ジェームズ・アンソール《フランドル街の軍楽隊》、ポール・デルヴォー《バラ色の蝶結び》、ルネ・マグリット《9月16日》いずれもアントワープ王立美術館蔵



会場風景

手のなかの空 奈良原一高 1954-2004



■ 2010年 7月30日[金]～9月13日[月]

松江高校の卒業生・奈良原一高(1931-)は、「人間の土地」(1956)以後、「王国」「ヨーロッパ・静止した時間」などの重要作を次々と発表し、自らの身を置く「場」を移しながら、そこに生きる人間の生命力を巨視的な視野で捉え、新鮮な映像感覚によって日本の写真表現を塗り替えてきた。国際的に高い評価を受ける奈良原一高の全貌を約500点の作品で紹介した。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、NHK松江放送局、日本経済新聞社、SPSしまね

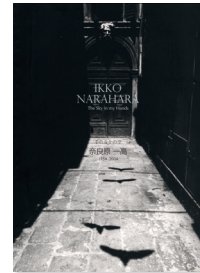
観覧者数／10,429人(開催日数40日)

記念講演会／「奈良原一高と私、そしてVIVO」〈講師〉細江英公(写真家)8月15日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中4回。サンセットギャラリートーク2回

主な関連イベント／美術講座「奈良原一高」〈講師〉篤谷典子(当館学芸グループ課長)8月8日(日)、夏休みアート体験「キリ撮れ! 光の写真隊」8月12日(木)～15日(日)、「写真神話 SANIN」(コレクション展示室)7月8日(木)～10月4日(月)、「森山大道 サンパウロ×ブエノスアイレス」(コレクション展示室)6月24日(木)～9月27日(月)、「森山大道トーク」8月1日(日)。佐野史郎写真展「あなたがいるから僕がいる」・りす写友会写真展「しゃんわ」・「リメンバーしまね」的写真展(すべてギャラリー)8月11日(水)～8月30日(月)、「トークイベント『写真と神話』」佐野史郎(俳優)・柴崎友香(小説家)×藤本智士(雑誌『Re:S』編集長)8月22日(日)

主な展示作品／奈良原一高《人間の土地》、《王国》ともに島根県立美術館蔵、《ヨーロッパ・静止した時間》、《消滅した時間》ともに作家蔵

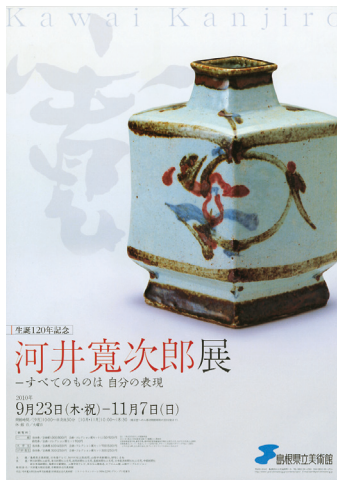


図録



会場風景

生誕120年記念 河井寛次郎展 —すべてのものは自分の表現—



会場風景

■ 2019年 9月23日[木・祝]~11月7日[日]

日本の近代陶芸に大きな足跡をのこした陶工・河井寛次郎(1890-1966)の生誕120年を記念して企画したもので、民芸運動に参画し、その後独自の作風の確立へと果敢に挑戦した軌跡を京都国立近代美術館所蔵の川勝コレクションの陶磁作品を中心に展示し、併せて濱田庄司、棟方志功、黒田辰秋、芹澤銈介、安部栄四郎との交流の跡を探った。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、NHK松江放送局、山陰中央新報社、SPSしまね

観覧者数／14,889人(開催日数40日)

記念講演会／「河井寛次郎の人間像を語る」〈パネリスト 鷺珠江(寛次郎の孫・河井寛次郎記念館学芸員)、多々納弘光(出西窯相談役)、森山雅夫(寛次郎の内弟子 温泉津・森山窯)10月3日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント／美術講座「河井寛次郎について」〈講師〉藤間寛(当館調整監)10月10日(日)、公開実演「寛次郎作品のテクニック」〈講師〉森山雅夫(寛次郎の内弟子 温泉津・森山窯)11月3日(水・祝)、「ナイトミュージアム the『火の誓い』」10月1日(金)、「手で触れる寛次郎作品〜箱ミニ講座とともに」〈講師〉藤間寛(当館調整監)10月16日(土)、湖畔で寛次郎作品を展示(美術館ロビー)10月6日(水)~16日(土)

主な展示作品／河井寛次郎《白地草花絵扁壺》京都国立近代美術館蔵、《三彩鳥天使水注》河井寛次郎記念館蔵



図録

第43回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2019年 11月20日[土]~11月28日[日]

主催／島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第57回 日本伝統工芸展 ～人間国宝から新進作家まで～



■ 2019年 12月8日[水]~12月26日[日]

本展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。9回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)44名の作品をはじめ、受賞作品、山陰在住作家10名の入選作品を含む290点を展示した。

主催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、島根県文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、(社)日本工芸会、SPSしまね

観覧者数／7,159人(開催日数19日)

記念講演会／「ちよっとした木の仕事」〈講師〉村山明(「木工芸」重要無形文化財保持者)12月19日(日)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。〈講師〉山口松太(漆芸)、小川佳都代(諸工芸)、土屋順紀(染織・重要無形文化財保持者)、前田昭博(陶芸)、村山明(木竹工・重要無形文化財保持者)、中村信喬(人形)

主な関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞〈やきもの〉」〈講師〉長岡空郷(陶芸作家)12月16日(木)、子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞〈もっこう〉」〈講師〉村山創達(木工作家)12月17日(金)

鑑賞ガイド
「くらべてみよう!」

八雲立つ…～美術に見る雲の表現～ ―島根県立美術館コレクションを中心に―



会場風景

■ 2011年 1月2日[日]～2月14日[月]

古来人間が眺め続けてきた「雲」は美術においても多く描かれ、その形象は実際の雲と同様、実に変化に富んでいる。この魅力的なモチーフに注目した本展では、当館コレクションを中心に絵画・版画・工芸・写真・彫刻などさまざまなジャンルにおいてあらわされた古今東西の雲の表現を一堂に展示し、一味違った鑑賞の機会を提供した。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、SPSしまね

観覧者数／8,979人(開催日数38日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中4回。

主な関連イベント／特別記念&インスタレーション「[くも、もくもく]～胸形さんとつくる、親子でわくわく雲のモビール作り教室」〈講師〉胸形克己(デザイナー・造本作家)1月16日(日)、美術講座「八雲立つ…～美術に見る雲の表現～」〈講師〉柳原一徳(当館主任学芸員)1月23日(日)、映画上映会「西遊記」2月6日(日)

主な展示作品／〈重要文化財〉《二河白道図》萬福寺(益田市)蔵、〈重要文化財〉《銅鐘》光明寺(雲南市)蔵、ギュスターヴ・ドレ《スコットランド風景》島根県立美術館蔵

安野光雅の絵本展



■ 2011年 2月25日[金]～4月11日[月]

島根県津和野町出身で、絵本・風景画・挿絵・装丁・ポスター・エッセーなど幅広い分野で活躍を続ける、安野光雅の40年以上におよぶ創作世界をご紹介します。絵本界へのデビュー作となった『ふしぎなえ』(1968)の全点展示をはじめ、初期から近作まで名作絵本の原画を一堂に集めその独創性と魅力の全貌に迫った。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、朝日新聞社、財団法人島根県文化振興財団、山陰中央新報社、SPSしまね

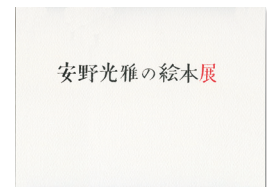
観覧者数／25,313人(開催日数40日)

記念講演会／「絵本のはなし」〈講師〉安野光雅3月21日(月・祝)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中4回。

主な関連イベント／安野光雅のふるさと津和野ゆかりのイベント ①映画上映会「山椒大夫」2月27日(日) ②「鷲舞」3月6日(日)、「ミュージアム・フェスティバル(全館無料開放日)」3月13日(日)

主な展示作品／安野光雅『ふしぎなえ』『天動説の絵本』『旅の絵本V』『繪本 三國志』等の絵本原画いずれも安野光雅美術館蔵



図録



記念講演会のようす

〈平成 23 年度〉 2011.4 - 2012.3

追悼 赤塚不二夫展 ～ギャグで駆け抜けた72年～



■ 2011年 4月22日[金]～5月30日[月]

『おそ松くん』、『ひみつのアッコちゃん』、『天才バカボン』など数々の大ヒット作で知られる赤塚不二夫氏(1935-2008)の漫画作品や人生を、250点以上もの原画や未公開写真などで紹介。キャラクターの描き割りパネルやタペストリー仕立ての造作物、アニメの上映など、赤塚作品の特徴を際立たせる立体的な展示空間となった。

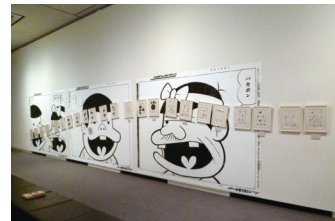
主催／島根県立美術館、日本海テレビ、読売新聞社、美術館連絡協議会、SPSしまね
企画協力：フジオ・プロダクション、渋谷出版企画、企画制作：びえろ

観覧者数／19,003人(開催日数35日)

記念講演会／赤塚りえ子&手塚るみ子 スペシャルトーク「レレレの娘とららの娘、父を語る」赤塚りえ子(赤塚不二夫長女/フジオ・プロ代表)、手塚るみ子(手塚治虫長女/プランニングプロデューサー) 司会：山口有貴(日本海テレビアナウンサー) 5月29日(日)

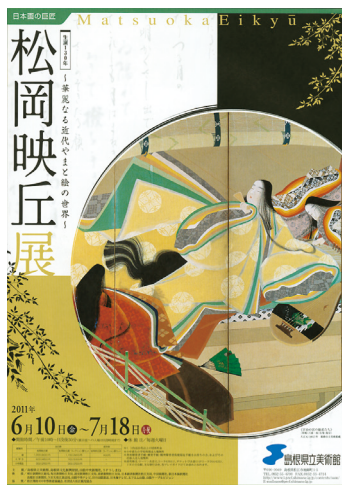
主な関連イベント／ナイトライブinミュージアム「アニソンmeetsジャズ」5月14日(土)、映画上映会「トキワ荘の青春」5月15日(金)、「答えて当たる! 赤塚キャラクター人気投票」5月11日(水)～16日(月)、「バカボンのパパ着ぐるみ登場」5月14日(土)、15日(日)、22日(日)、28日(土)、29日(日)

主な展示作品／赤塚不二夫が中学時代に描いた漫画『ダイヤモンド島』、『おそ松くん』『もーれつア太郎』『ひみつのアッコちゃん』『天才バカボン』等の漫画原画、本展オリジナルの新作ショートアニメ「となりの天才バカボン」(FROGMAN制作)



会場風景

日本画の巨匠 生誕130年 松岡映丘展 ～華麗なる近代やまと絵の世界～



■ 2011年 6月10日[金]～7月18日[月・祝]

古典の学習を礎に「新興大和絵」と呼ばれる新しい表現を確立した日本画家松岡映丘の30年振りに開催された大規模な回顧展。文展、帝展に出品された大作など、代表作62点を展示。大小の下絵や遺品なども紹介し、映丘芸術の全貌に迫る充実した内容となった。

主催／島根県立美術館、島根県文化振興財団、山陰中央新報社、SPSしまね

観覧者数／8,169人(開催日数34日)

記念講演会／「松岡映丘の芸術」〈講師〉平瀬礼太(姫路市立美術館学芸係長) 6月19日(日)
ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回。

主な関連イベント／ナイトミュージアム「The 源氏物語」7月8日(金)、ロビー公開イベント「ひとりがり 源氏物語の世界」7月10日(日)、「関連展示 橋本明治 一師・松岡映丘の薫陶を受けて」(コレクション展示室) 6月16日(木)～7月31日(日)、映画上映会「千年の恋 ひかる源氏物語」6月26日(日)

主な展示作品／松岡映丘〈宇治の宮の姫君たち〉姫路市立美術館蔵、《八島の義経》東京国立近代美術館蔵、《右大臣実朝》日本芸術院蔵



図録



鑑賞ガイド「松岡映丘の世界」

宗廣コレクション 芹沢銈介展 模様遊び 色に遊ぶ



■ 2011年 7月29日[金]～9月5日[月]

型絵染の人間国宝・芹沢銈介は、民芸運動を主導した日本を代表する染色家である。沖縄に伝わる紅型に魅せられ、独創的な型絵染を考案、パリのグラン・パレで展覧会を開くなど国際的にも高く評価された。本展では、芹沢を代表する型絵染の屏風、暖簾、着物、染絵等を一堂に展示。優れた色彩感覚・斬新な構成力に溢れ、どこか郷愁を誘う、芹沢芸術の魅力を紹介した。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、SPSしまね
 観覧者数／12,730人(開催日数34日)
 記念講演会／「コレクターが見た芹沢作品の魅力」〈講師〉宗廣陽助(郡上紬制作者)8月21日(日)ギャラリートーク/担当学芸員による展示解説。会期中3回。
 主な関連イベント／「日本古来の結びの文化を楽しむ かざり結び一華やぎのテクニック」7月31日(日)、夏休みアート体験「手作りのりで型絵染 かんたん!芹沢ランチョン」8月12日(金)～15日(月)
 主な展示作品／芹沢銈介《丸紋伊呂波屏風》、《春夏秋冬・春》、《壺屋窯文着物》いずれも宗廣コレクション

鑑賞ガイド
「芹沢銈介展 以呂者読本」

愛知県美術館コレクション展 ふらんす物語



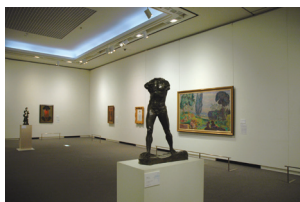
■ 2011年 9月17日[土]～11月7日[月]

愛知県美術館の充実したコレクションの中から、ロダン、ピカソ、マティスなどフランスの作家たちや、黒田清輝、安井曾太郎、里見勝蔵らフランスに憧れた日本の画家たちの作品約70点を展示し、1890年代から1960年代までの日仏美術の展開をたどった。なお、本展は「震災復興支援特別企画」として行われ、販売商品の収益の一部は、島根県文化振興財団より全国美術館会議を通じて、文化財や美術品救済活動のための支援金にあてられた。



図録

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまね
 共催／愛知県美術館
 観覧者数／12,105人(開催日数45日)
 記念講演会／「愛知県美術館のコレクションと日本の近代洋画」〈講師〉浅野徹(元愛知県美術館長)9月25日(日)
 「ロダンと日本の彫刻家たち」長谷川三郎(当館館長)10月9日(日)、10月29日(土)ギャラリートーク/担当学芸員による作品解説。会期中5回。
 主な関連イベント／「秋のスペシャルイベントデー」(タノタイガ「お面de似顔絵ワークショップ」など)10月23日(日)、「捨てた欠片を再生する試み—「なおす」とはどういうことか?—」〈講師〉青野文昭(作家)10月30日(日)
 主な展示作品／オーギュスト・ロダン《歩く人》、ピエール・ボナール《にぎやかな風景》、藤田嗣治《青衣の少女》いずれも愛知県美術館蔵



会場風景

第44回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2011年 11月19日[土]～11月27日[日]

主催／島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第58回 日本伝統工芸展 ～人間国宝から新進作家まで～



■ 2011年 12月7日[水]～12月25日[日]

本展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。10回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)44名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家6名の入選作品を含む291点を展示した。

主催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、島根県文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまね

観覧者数／6,911人(開催日数19日)

記念講演会／「伝統工芸のいま、未来への発信」〈講師〉室瀬和美(「蒔絵」重要無形文化財保持者)12月11日(日)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。〈講師〉前田昭博(陶芸)、須田賢司(木竹工)、室瀬和美(漆芸・重要無形文化財保持者)、森口邦彦(染織・重要無形文化財保持者)、秋山信子(人形・重要無形文化財保持者)、石田知史(諸工芸)

主な関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(もっこう)」〈講師〉村山創達(木工作家)12月9日(金)、子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」〈講師〉内田和秀(陶芸作家)12月15日(木)、「関連展示-しまねのふるさと伝統工芸」(会期中)



鑑賞ガイド
「伝工展名人になるための秘伝の書」

没後40年 伊東深水展



■ 2012年 1月2日[月・祝]～2月13日[月]

伊東深水(1898-1972)の代名詞である美人画だけではなく、初期作品や版画、南方風俗のデッサンなど、約100点を通して画業の全貌を紹介。「深水型美人」として親しまれている晩年の美人画だけではなく、発表以来長らく所在不明であった初公開作品も含めて、知られざる深水像に迫った。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、SPSしまね

観覧者数／13,205人(開催日数38日)

記念講演会／「深水芸術の魅力」〈講師〉島田康寛(立命館大学大学院教授)2月5日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。

主な関連イベント／公開実演「日本髪結髪実演」林照乃(結髪師)、村田孝子(ボラ文化研究所研究員)1月22日(日)、美術講座「伊東深水の挑戦」〈講師〉田野葉月(当館主任学芸員)1月9日(月・祝)、関連展示「版画家・伊東深水 浮世絵から学んだもの」(コレクション展示室)12月21日(水)～1月30日(月)

主な展示作品／伊東深水《指》個人蔵、《鏡獅子》個人蔵、《鏡》岐阜県美術館蔵



図録



会場風景

くらしとデザイン 『暮らしの手帖』花森安治の世界



会場風景

■ 2012年 2月24日[金]～4月9日[月]

現在も広く愛され続ける雑誌『暮らしの手帖』。1948(昭和23)年の創刊以来30年間編集長をつとめた花森安治の生誕100年を記念して開催。花森は、編集のほか、取材・撮影・執筆・表紙画・挿絵・レタリング・レイアウトなど雑誌づくりの全てを手がけ、また広告のデザインやコピーの作成まで行う徹底した仕事ぶり知られる。入稿原稿として制作された作品の数々や貴重な資料、映像等、初公開を多数含む約600点でその魅力を紹介した。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、島根県連合婦人会、SPSしまね
観覧者数／15,273人(開催日数40日)

記念講演会／1.「編集者・花森安治に学んだこと」〈講師〉高橋一清(〔社〕松江観光協会・観光文化プロデューサー、元「別冊文藝春秋臨時増刊」編集長)、2.「『暮らしの手帖』表紙画から見た花森安治」〈講師〉矢野進〔世田谷美術館主任学芸員、「花森安治と『暮らしの手帖』展」(2006年、世田谷文学館)企画者〕3月25日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント／映画上映会「アラバマ物語」2月26日(日)・「小津安二郎監督作品特集」3月31日(土)、4月1日(日)「チケットをつかってしおりをつくらう」(会期中)、「ミュージアム・フェスティバル(全館無料開放日)」3月18日(日)

主な展示作品／花森安治《『暮らしの手帖』1世紀1号(1948年発行)の表紙原画》世田谷美術館蔵、《『スタイルブック1946夏』(1946年発行)の原画》暮らしの手帖社蔵、《『暮らしの手帖』2世紀15号(1971年発行)の新聞広告版下》暮らしの手帖社蔵

〈平成24年度〉2012.4-2013.3

第43回 日展 松江会場

■ 2012年 4月21日[土]～5月13日[日]

主催／山陰中央新報社、社団法人日展、島根県立美術館

京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美 ～上村松園、前田青邨、菊池契月…～



■ 2012年 6月8日[金]～7月16日[月・祝]

京都画壇を中心に、上村松園をはじめ、前田青邨、菊池契月、土田麦僊、秋野不矩、橋本明治(島根県浜田市出身)など、近代日本画を代表する作家44名によって制作された多彩な女性像65点を紹介した。制作年代は明治から平成まで、帝展や日展、国画創作協会展などへ出品した大作を中心に、時代毎の作風やモチーフによって展示を8章に分け、様々な角度から美人画の魅力にスポットを当てた。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまね

観覧者数／10,778人(開催日数34日)

記念講演会／「なぜ女性は描かれるのかー女と男が描く女性像の時代的意味について」〈講師〉尾崎真人(京都市美術館学芸課長)7月8日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中5回。

主な関連イベント／「オープニング・ギャラリートーク」〈講師〉濱江宏三(京都市美術館長)6月8日(金)、「伝統的な口紅にふれる」1.紅点し体験6月17日(日)2.子ども講座(紅ってなあに)〈講師〉立川亜理沙(伊勢半本店紅ミュージアム学芸員)佐々木宗臣(伊勢半本店紅職人)6月17日(日)、映画上映会「古都」7月1日(日)

主な展示作品／上村松園《人生の花》、菊池契月《南波照間》、前田青邨《観画》いずれも京都市美術館蔵



会場風景

神々の国しまね古事記1300年・島根民藝協会設立80周年記念 民藝—MINGEI—手仕事の美



会場風景

■ 2012年 7月27日[金]～9月17日[月・祝]

大正15年柳宗悦、河井寛次郎、濱田庄司によって始まる民芸運動は、山陰でも早期に普及した。近年、若年層に民芸が再び注目を集めており、本展では民芸運動の草創期にいち早く活動した島根・鳥取の山陰地域の状況に注目し、80年を経た今日にその活動を紹介、記録すべく企画した。民芸品(日本民藝館蔵品44点)と河井寛次郎など民芸作家の作品や鳥取・島根の民芸作品など総数333点を展示。



図録

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、SPSしまね
観覧者数／18,831人(開催日数47日)

記念講演会／「第141回日本民藝夏期学校」公開講座 1.「柳宗悦と民芸運動」(講師)杉山享司(日本民藝館学芸部長) 2.「インドの手仕事の美—村々に伝わる木版更紗の5000年の歴史を巡る—」(岩立広子(岩立フォークテキスタイルミュージアム館長) 7月27日(金) ギャラリートーク/担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント／「オープニング・ギャラリートーク」(講師)杉山享司(日本民藝館学芸部長) 7月27日(金)、「関連展示 暮らしに息づく、手仕事の美 民藝展」(講義室) 7月27日(金)～8月6日(月)、「民芸ツアー」9月2日(日)・9月9日(日)・9月16日(日)、夏休みアート体験「職人技を手に入れよう! わらで手作りウォールポケット」8月11日(土)～14日(火)、「寛次郎の器でお茶を飲む」(講師)鷲珠江(河井寛次郎記念館学芸員) 8月25日(土)

主な展示作品／《染付蘭文字入壺》日本民藝館蔵、棟方志功《いろは孔雀図襖絵》安部榮四郎記念館蔵、バーナード・リーチ《鳥図鉢》個人蔵

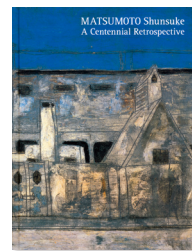
生誕100年 松本竣介展



会場風景

■ 2012年 9月29日[土]～11月11日[日]

昭和前期の日本美術界に大きな足跡を残した松本竣介(1912-1948)の生誕100年を記念した大回顧展。代表作の油彩約120点のほか、彼の創作活動を知るうえでの手掛かりとなる素描作品も多数展示するとともに、当時の写真や友人宛の書簡などの資料類も合わせて紹介し、人間としての松本竣介像にも迫った。本展図録は2012年美連協優秀カタログ賞を受賞した。



図録

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、NHK松江放送局、NHKプラネット中国、SPSしまね
制作協力：NHKプロモーション、NHKプラネット東北

観覧者数／10,314人(開催日数38日)

記念講演会／「父・竣介、母・禎子、そして松江のこと」(講師)松本莞(建築家・松本竣介ご子息) 9月30日(日)、「松本竣介という画家 わたしたちの同時代人として」(講師)水沢勉(神奈川県立近代美術館 館長) 10月14日(日)

ギャラリートーク/学芸員による展示解説。会期中4回。

主な関連イベント/美術講座「松本竣介—その多彩な表現、多様な魅力」柳原一徳(当館主任学芸員) 11月3日(土・祝)、「オヤコでコラボTシャツづくり」10月28日(日)

主な展示作品/松本竣介《立てる像》神奈川県立近代美術館蔵、《街》公益財団法人 大川美術館蔵、《Y市の橋》東京国立近代美術館蔵

第45回 島根県総合美術展〈県展〉

2012年 11月24日〔土〕～12月2日〔日〕

主 催／島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第59回 日本伝統工芸展 ～人間国宝から新進作家まで～



2012年 12月12日〔水〕～12月25日〔火〕

本展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。11回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)42名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家10名の入選作品を含む290点を展示した。

主 催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまね

観 覧 者 数／5,605人(開催日数14日)

記念講演会／「木版摺更紗・型的美を求めて」〈講師〉鈴木滋人(「木版摺更紗」重要無形文化財保持者)12月16日(日)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。〈講師〉前田昭博(陶芸)、久保かよ子(諸工芸)、鈴木滋人(染織・重要無形文化財保持者)、三門靖子(人形)、櫻井久明(木竹工)、大谷早人(漆芸)

主な関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」〈講師〉内田和秀(陶芸作家)12月14日(金)、子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(にぎょう)」〈講師〉吾郷江美子(人形作家)12月18日(火)



鑑賞ガイド
「どの作品かな？
探してみよう！」

島根県立美術館・版画コレクション名品選 風景版画の変容 -「浮世絵」の風景から「版画」の風景へ-



2013年 1月2日〔水〕～2月4日〔月〕

江戸後期、葛飾北斎の《富嶽三十六景》、歌川広重の《東海道五拾三次》の相次ぐ版行を機に、浮世絵の世界に「風景画」が確立した。明治期には、小林清親が、「光線画」と称する光と影を活かした劇的な風景画を手掛け、明治末頃には、新版画運動や創作版画運動の高まりの中から、多様な風景表現が生まれた。本展では、島根県立美術館が誇る、北斎、広重、清親、川瀬巴水、平塚運一などの風景版画コレクション約200点により、江戸後期から昭和初期までの風景表現を振り返った。

主 催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、SPSしまね

観 覧 者 数／6,601人(開催日数30日)

記念講演会／「近代日本版木の潮流と渡邊版画店」〈講師〉渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗)1月27日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント／公開実演「川瀬巴水版画の摺り実演」〈実演〉渡辺英次(江戸木版摺師)1月26日(土)・27日(日)、連続美術講座 演題①「風景版画の流れ(上)―北斎・広重から小林清親まで」〈講師〉大森拓土(当館主任学芸員)1月12日(土)、演題②「風景版画の流れ(下)―小林清親から平塚運一まで」〈講師〉田野葉月(当館主任学芸員)1月19日(土)

主な展示作品／葛飾北斎《富嶽三十六景 山下白雨》、歌川広重《東海道五拾三次之内 池鯉鮒》、小林清親《東京新大橋雨中図》いずれも島根県立美術館蔵



書籍「島根県立美術館
近代版画コレクション選」



会場風景

須田国太郎展 没後50年に顧みる



■ 2013年 2月15日[金]～4月1日[月]

西洋絵画を基礎に、日本独自の油彩画を生み出そうとした洋画家・須田国太郎の没後50年を記念する展覧会。第一回個展出品作や独立美術協会展出品作を中心に、風景や草花、動物や鳥などを描く作品約130点により、独特の深遠な境地に到達した須田の世界を回顧した。隠岐の風景など、須田が山陰を描いた作品も多数出品。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、日本経済新聞社、SPSしまね
特別協力：京都国立近代美術館

観覧者数／7,207人(開催日数40日)

記念講演会／「須田国太郎の東洋的精神」〈講師〉原田平作(大阪大学名誉教授)2月16日(日)、「父・須田国太郎の思い出」須田寛(須田国太郎ご子息)3月24日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中3回。

主な関連イベント／「オープニング・ギャラリートーク」〈講師〉原田平作(大阪大学名誉教授)2月15日(土)、美術講座「旅する画家―須田国太郎が見た山陰」〈講師〉左近充直美(県立石見美術館学芸員)3月17日(日)、「春休み!子ども限定バックヤードツアー」3月20日(水・祝)、23日(土)、「関連展示 須田国太郎と山陰」(コレクション展示室)12月5日(水)～4月22日(月)

主な展示作品／須田国太郎《アーヴィラ》京都国立近代美術館蔵、《犬》東京国立近代美術館蔵、《断崖と漁夫》東京国立近代美術館蔵



会場風景

古典から抽象へ 堂本印象展 ～新たなる美の創造をめざして～



■ 2013年 4月26日[金]～6月10日[月]

当館だけの単独開催。近代日本画の巨匠で、その幅広くエネルギッシュな美術活動により日本のピカソとも称せられた堂本印象の世界を紹介した。印象が構想し建築デザインも行った京都府立堂本印象美術館のコレクションを中心に、京都・奈良の寺院に揮毫した襖絵を特別に借用、印象の初期から晩年に至る日本画の代表作60点を一堂に展示した。また、下絵、スケッチや油彩、水彩、木彫、陶芸等の美術作品も併せて紹介し、多彩な印象芸術の魅力に迫った。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、SPSしまね

観覧者数／9,606人(開催日数41日)

記念講演会／スペシャルトーク「師・堂本印象の思い出」〈ゲスト〉三輪晃久(日本画家、京都府立堂本印象美術館館長、堂本印象の甥・弟子)、山田由希代(京都府立堂本印象美術館主任学芸員)4月27日(土)、「堂本印象の世界」島田康寛(美術評論家、前京都府立堂本印象美術館館長)5月26日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。

主な関連イベント／「オープニング・ギャラリートーク」〈講師〉山田由希代(京都府立堂本印象美術館主任学芸員)4月26日(金)、「しじみが絵具になる!」4月29日(月・祝)、「出雲神代神楽 inミュージアム」5月5日(日・祝)

主な展示作品／堂本印象《華巖》東大寺蔵、《木華開耶媛》京都府立堂本印象美術館蔵、《静風自來》法然院蔵



会場風景

大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ―ポスターのある街角―



■ 2013年 7月5日[金]～9月16日[月・祝]

パリの石造りの建物やポスターの文字を独特なタッチで描いたことで知られる佐伯祐三(1898-1928)の展覧会。山本發次郎コレクションを中心とする大阪新美術館コレクションの佐伯作品58点を展示し、2回の渡仏期を中心に作風の変遷をたどった。関連作家の作品やポスター作品など約50点も併せて出品され、同時代のパリの雰囲気を展示室に再現した。

主催／島根県立美術館、大阪新美術館建設準備室、日本海テレビ、読売新聞社、美術館連絡協議会、SPSしまね

観覧者数／20,135人(開催日数65日)

記念講演会／「佐伯祐三と1920年代のパリ」〈講師〉熊田司(和歌山県立近代美術館館長)7月21日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。

主な関連イベント／「オープニング・ギャラリートーク」〈講師〉菅谷富夫(大阪新美術館建設準備室研究主幹)7月5日(金)、美術講座「壁と文字―佐伯祐三の表現について」帯刀菜緒(当館学芸員)8月3日(土)、夏休みアート体験「佐伯の絵からとびだした!立体で作るパリの街」8月10日(土)～13日(火)、「夏休み!子ども限定バックヤードツアー」8月17日(土)、18日(日)、「ミュージアム・フェスティバル(全館無料開放日)」8月25日(日)

主な展示作品／佐伯祐三《郵便配達夫》、《レストラン(オテル・デュ・マルシェ)》以上大阪新美術館建設準備室蔵、シャルル・ジェスマール《ミスタンゲット》サントリーポスターコレクション



会場風景

“天下一”のアイドルの系譜 出雲阿国展 初期歌舞伎図から寛文美人図まで



■ 2013年 9月27日[金]～11月4日[月・祝]

慶長8(1603)年、出雲国(島根県)の神子を名のる阿国は、異風な装束で闊歩したかぶき者の風俗を取り入れた「かぶき踊」で喝采を浴び、一躍“天下一”の芸能者として名を高めた。歌舞伎の祖・出雲阿国の姿はすぐに絵画化され、「歌舞伎図」という新しい画題が生まれる。初期歌舞伎



図録

図の名品を中心に、洛中洛外図・遊楽図・寛文美人図など華麗な近世初期風俗画約50点を展示。現世を謳歌したくましく生きた人々の姿を紹介する。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまね

観覧者数／13,107人(開催日数34日)

記念講演会／「阿国とその時代―出雲国を中心に―」〈講師〉藤岡大拙(松江歴史館館長)9月29日(日)、「カブキモノと歌舞伎の記憶」〈講師〉奥平俊六(美術史家 大阪大学大学院教授)10月5日(土)、「かぶく出雲の阿国―阿国歌舞伎の再現」〈講師〉小笠原 匡(能楽師狂言方と泉流 重要無形文化財総合指定保持者)10月14日(月・祝)、「阿国の幻影を求めて―近世風俗画における女性像―」〈講師〉狩野博幸(美術史家 同志社大学教授)10月26日(土)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中3回。

主な関連イベント／美術講座「歌舞伎の造形化―出雲阿国を中心として」〈講師〉大森拓士(当館主任学芸員)10月13日(日)、活弁「ナイトイベント 名画をいどころ話芸と音楽 in 松江」10月16日(水)

主な展示作品／《阿国歌舞伎図屏風》京都国立博物館蔵、《歌舞伎図巻》徳川美術館蔵



会場風景

第46回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2013年 11月23日[土・祝]～12月1日[日]

主催／島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第60回 日本伝統工芸展 ～ものづくりの、今～



■ 2013年 12月11日[水]～12月25日[水]

本展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。12回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)45名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家9名の入選作品を含む291点を展示した。

主催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまね

観覧者数／6,544人(開催日数15日)

記念講演会／「私と白磁」(講師)前田昭博(「白磁」重要無形文化財保持者)12月15日(日)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。(講師)福井禎(染織)、川北良造(木竹工・重要無形文化財保持者)、前田昭博(陶芸・重要無形文化財保持者)、中村信喬(人形)、室瀬和美(漆芸・重要無形文化財保持者)、小川佳都代(諸工芸)

主な関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞〈にんぎょう〉」(講師)吾郷江美子(人形作家)12月12日(木)、子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞〈やきもの〉」(講師)目次潤平(陶芸作家)12月13日(金)、「新年おめでとう陶芸体験」(講師)目次潤平(陶芸作家)12月22日(日)



鑑賞ガイド「工芸ずかん」

色のたのしさ —島根県立美術館コレクションを中心に—



■ 2014年 1月2日[木]～3月3日[月]

「神々の国しまね古事記1300年」開催にちなみ、我が国における古代色名のうち、最も本来的であり日本人の基層をなすと考えられている色彩—「あか」「あお」「しろ」「くろ」の4色に着目し、当館コレクションを中心に油彩・版画・彫刻・工芸・写真など多彩なジャンルの優品にて構成した展覧会。日本の自然や文化が育んだ色彩やその取り合わせの豊かさを改めて見つめ、美術作品における色の魅力を紹介した。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ、SPSしまね

観覧者数／8,145人(開催日数53日)

記念講演会／「日本の古代色」(講師)吉岡幸雄(染色家・染司よしおか五代目当主・「紫紅社」代表)2月2日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中3回。

主な関連イベント／「開運!? 色おみくじ」1月2日(木)～12日(日)、「[しまび]寄席一柱吉弥」2月11日(火・祝)、「やってみよう色実験」2月23日(日)、4色のフィルムを重ねてフルカラーの画像を作る、カラー印刷のしくみがわかる体験コーナーの設置(会期中)、色彩の明度差を利用した錯視パネルコーナーの設置(会期中)

主な展示作品／前田昭博《白瓷面取壺》田部美術館蔵、《絵拵 亀文裂》個人蔵、明珍宗恭《白糸威鎧(復元)》出雲文化伝承館蔵、浜口陽三《19と1つのさくらんぼ》島根県立美術館蔵



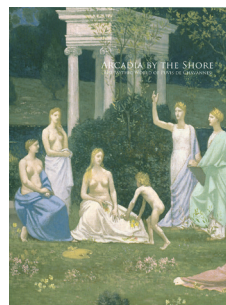
記念講演会のようす

神々の国しまね・開館15周年記念 水辺のアルカディア -ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの神話世界-



■ 2014年 3月20日[木]~6月16日[月]

19世紀フランスを代表する壁画家として知られ、日本の近代洋画の確立に多大な影響力を及ぼしたピュヴィス・ド・シャヴァンヌ(1824-1898)の全体像を提示する日本初の展覧会。自然と人間が調和した理想郷「アルカディア」を描いたこの画家を国内外から集めた作品約150点によって紹介した。本展の意義が高く評価され、企画者の蔦谷典子が平成27年度西洋美術振興財団賞学術賞を受賞した。



図録

主催/鳥根県、鳥根県立美術館、日本経済新聞社、山陰中央テレビ、山陰中央新報社、中国新聞社、SPSしまね

観覧者数/25,110人(開催日数78日)

記念講演会/「ピエール・ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ -水辺のアルカディア」(講師)エメ・ブラウンプライス(美術史家・本展監修者)3月21日(金・祝)「シャヴァンヌと19世紀象徴主義」高階秀爾(美術史家・大原美術館館長)4月20日(日)

ギャラリートーク/担当学芸員による作品解説。会期中9回。

主な関連イベント/「開会式・特別内覧会」3月19日(水)、「開幕イベント(しまねっこと児童たちによる開幕セレモニー)」3月20日(木)、美術講座「ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ アルカディアを描いた壁画家」蔦谷典子(当館学芸課長)5月18日(日)、「ミュージアム・フェスティバル(全館無料開放日)」3月23日(日)

主な展示作品/ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ《諸芸術とミューズたちの集う聖なる森》シカゴ美術館、《古代の光景》カーネギー美術館 ピッツバーグ、《プロ・パトリア・ルドゥス(祖国のための競技)》個人蔵、《プロ・パトリア・ルドゥス(祖国のための競技)》トリード美術館蔵、《労働》《休息》ともにナショナル・ギャラリーワシントンD.C.



こども鑑賞ガイド



開幕イベントのようす



会場風景



会場風景



会場風景



記念講演会Iのようす



記念講演会IIのようす



ギャラリートークのようす



教育普及

■ 教育普及

〈平成21年度普及事業〉2009.4～2010.3

レクチャー	内 容	事業数/日数	参加人数
講演会		6事業/6日間	780人
フランス絵画の19世紀	演題/「19世紀フランス絵画におけるアカデミスムと革新派」 講師/三浦篤(東京大学教授・企画展監修者)	4月5日	157人
孤高の日本画家 橋本関雪	演題/「京都画壇と橋本関雪」 講師/島田康寛(立命館大学文学部教授・美術評論家)	8月23日	84人
出光美術館所蔵 桃山・江戸の美	演題/「松平不昧の茶道員—豊州蔵板をも解く」 講師/武内範男(尾山記念館主任学芸員)	10月11日	190人
	演題/「桃山・江戸の風俗画について—阿国歌舞伎図をめぐって」 講師/黒田泰三(出光美術館学芸部長)	10月25日	81人
第56回 日本伝統工芸展	演題/「陶芸への道 ～白磁は、形そのものが文様～」 講師/井上萬二(「白磁」重要無形文化財保持者)	12月13日	147人
浮世絵遊覧	演題/「北斎の芸術」 講師/永田生慈(葛飾北斎美術館館長)	1月11日	121人
美術講座		2事業/2日間	81人
フランス絵画の19世紀	演題/「起源の探求—コルモンとゴーギャン、時間と空間のプリミティヴィスム—」 講師/鳥谷典子(当館学芸グループ課長)	11月7日	45人
浮世絵遊覧	演題/「浮世絵のたのしみ」 講師/大森拓士(当館主任学芸員)	1月17日	36人
企画展ギャラリーツアー		34回	2,271人
フランス絵画の19世紀	学芸員による作品解説		915人
孤高の日本画家 橋本関雪	学芸員による作品解説	8月9日、8月16日、8月30日、9月6日、9月13日	243人
出光美術館所蔵 桃山・江戸の美	学芸員による作品解説	10月3日、10月12日、10月18日、11月1日	153人
	出品作家による各分野の展示作品解説① 山口松太(漆芸)	12月9日	80人
	出品作家による各分野の展示作品解説② 若瀬なほみ(人形)	12月12日	60人
	出品作家による各分野の展示作品解説③ 井上萬二(陶芸)	12月13日	134人
	出品作家による各分野の展示作品解説④ 福井楨(染織)	12月19日	97人
	出品作家による各分野の展示作品解説⑤ 川北浩彦(木竹工)	12月20日	92人
	出品作家による各分野の展示作品解説⑥ 渡邊明(諸工芸)	12月23日	74人
浮世絵遊覧	学芸員による作品解説	1月9日、1月24日、2月7日、2月11日	355人
ピーターラビット®の生みの親 ヒアトリクス・ポター™展	学芸員による作品解説	3月7日、3月27日	68人
コレクション展ギャラリーツアー		33回	253人
	日本画/日本書体選(四季を愉しむ)	5月23日	10人
	日本画/日本書体選(四季を愉しむ)	9月12日	8人
	日本画/日本書体選(四季を愉しむ)	10月31日	10人
	日本画/日本書体選(四季を愉しむ)	2月14日	8人
	洋画/洋画名品選Ⅱ	4月4日	6人
	洋画/近代洋画の諸相Ⅱ	7月12日	5人
	洋画/近代洋画の諸相Ⅱ	8月2日	6人
	洋画/油彩画の表現と技法	11月8日	5人
	洋画/描かれた自然・人・動物	2月14日	6人
	西洋絵画/コロ、グループペ…水辺へのまなざし	6月21日	10人
	西洋絵画/色彩の饗宴	10月17日	6人
	西洋絵画/自然を見つめて	3月14日	8人
	版画/浮世絵のなかに動物たち	4月18日	10人
	版画/北斎×広重—風景版画傑作選	5月16日	9人
	版画/美人画の系譜—描かれた江戸の美意識—	6月27日	10人
	版画/江戸から明治へ—開化絵と清親	8月2日	8人
	版画/新版画の夢	9月5日	10人
	版画/創造と表現—創作版画	9月20日	8人
	版画/版画にみる春夏秋冬	11月8日	6人
	版画/銅版画 魅惑のマニエール	12月6日	6人
	版画/木の中の物語	1月23日	5人
	版画/「線・ドラマ」 油田 満寿夫と山本容子	3月6日	5人
	工芸/松平不昧が生んだ出雲の美	7月5日	10人
	工芸/出雲統一輸出陶器の時代	9月27日	8人
	工芸/しまねの工芸	11月29日	7人
	工芸/河井寛次郎の陶芸	2月21日	5人
	写真/写真コレクション選	5月17日	12人
	写真/異郷憧憬	8月22日	6人
	写真/空(くう)—何もないうい豊かさ	12月13日	8人
	彫刻・小企画/清水九兵衛 マケットの魅力	7月12日	10人
	彫刻・小企画/陶器銅版画の世界—新収蔵 中林忠良を中心に	9月5日	9人
	彫刻・小企画/木を彫る!!—写真、抽象の造形美—	1月16日	6人
	彫刻・小企画/オブジェの魅力	3月13日	7人

※講師の敬称略、肩書きは開催当時のものです ※事業日数はのべ日数で示しています
※指定管理者が実施したイベントを一部含め記載しています

鑑賞補助	内 容	事業数/日数	参加人数
鑑賞ガイド		4事業	
孤高の日本画家 橋本関雪	「家族で楽しむ鑑賞ガイド」		
出光美術館所蔵 桃山・江戸の美	「展覧会を楽しむ秘伝の書」		
第56回 日本伝統工芸展	「もようを考える」		
浮世絵遊覧	「七福神の浮世絵のおはなし」		
触れる・参加するコーナーの設置等		2事業	
第56回 日本伝統工芸展	継手・仕口の触れる展示コーナー		
コレクション展 鑑賞補助	浮世絵に描かれた人物たちによる作品案内パネルの設置		
作品鑑賞の補助となるクイズの作成		3事業/4日間	3,879人
孤高の日本画家 橋本関雪	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	8月9日、9月6日	765人
出光美術館所蔵 桃山・江戸の美	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	11月3日	1,110人
浮世絵遊覧	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	2月7日	2,004人
創作活動等		事業数/日数	参加人数
企画展関連		7事業/9日間	1,317人
孤高の日本画家 橋本関雪	「絵のレイアウトを学ぼう」	8月9日	33人
	「落款印の魅力に触れる」 講師/古瀬卓石、足立瑠華、塩毛卓石	8月30日	34人
出光美術館所蔵 桃山・江戸の美	「掛軸の扱い方」	11月3日	154人
	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」 講師/長岡空郷(陶芸作家)	12月11日、12月18日	165人
第56回 日本伝統工芸展	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(しっぽう)」 講師/松本三千子(七宝作家)	12月16日	59人
浮世絵遊覧	「浮世絵の摺り実演」 実演/渡辺英次(江戸木版画師)	1月31日	700人
ピーターラビット®の生みの親 ヒアトリクス・ポター™展	「ピアトリクス・ポターに挑戦しよう」	3月13日、3月27日	172人
コレクション展関連		1事業/4日間	136人
彫刻・小企画/清水九兵衛 マケットの魅力	「夏休みアート体験 キラキラスタルでマケット制作!みんなもなまなり彫刻家」 協力/島根大学教育学部	8月12日～16日	136人
その他		6事業/14日間	2,529人
	「和文化シリーズ3 茶花—やさしい茶花の入れ方」 講師/武内範男(尾山記念館 主任学芸員)	10月10日	26人
	「ステンシルで年賀状づくり」	12月20日	36人
	バックヤードツアー	4月26日、5月17日、11月3日	152人
	スケッチデー	11月3日	36人
	缶バッジづくり	4月19日、5月5日、5月10日、8月9日、9月6日、2月7日、3月28日	2,186人
	エコバッグづくり	9月6日	93人
映画会・コンサート等		事業数/日数	参加人数
映画上映		10作品/2日間	446人
	上映作品/チャールズ・チャップリンの映画9編	11月3日	161人
ピーターラビット®の生みの親 ヒアトリクス・ポター™展	上映作品/「ミス・ポター」	3月14日	285人
コンサート等		9事業/10日間	4,799人
	「夕日コンサート」	4月4日、5月2日	737人
	「七夕コンサート」	7月4日	458人
	夏休みファミリーデー 「ロケットくれよん☆ファミリーコンサート」	8月9日	191人
	ハッピーファミリーデー 「王丹リサイタル 二胡～中国への旅～」	9月6日	465人
	出光興産コンサート「Music in Museum by 出光 ～あこがれの桃山～」	10月4日	684人
	落語会「桂木團治」	10月24日	190人
	「クリスマスコンサート」	12月23日	528人
	ミュージアムフェスティバル2010 「六子/真冬の心唄2010」	2月7日	1,080人
	「バレンタインコンサート」	2月14日	466人
その他の活動		回数/日数	参加人数
【 学校等 】			
団体鑑賞(床場)			129校 /5,665人
団体鑑賞(床場のうち解説対応)	作品解説		17校/705人
職場体験(児童・生徒対象)	美術館の仕事体験	5回/8日間	5校/7人
出張授業	学校に出向いて講義をおこなう	2回/2日間	2校/10人
教員3年目研修	異業種体験	5日間	1校/1人
教員研修(美術館主催)	講義、作品鑑賞、創作活動	1事業/2日間	40人
教員研修(連携)	松江市小学校教育研究会および小学校 図画工作科教育講座の受入れ	2事業/3日間	のべ183人
教育体験ボランティア	島根大学の学生をワークショップ指導補助として受け入れ	春～夏	1校/7人
教育活動評価委員会	島根大学の教育活動評価に参画	4日間	
学芸員実習	学芸員資格取得のための実習	5日間	28人
【 一般 】			
団体鑑賞(解説対応)	作品解説		38団体 /1,016人
まつえ市民大学	解説・講義	2回/2日間	120人
くまびき学園	解説・講義	2回/2日間	60人
出張講演会	学芸員による他の美術館での講演会	1回/1日間	
【 子育て支援 】			
託児サービス		11月3日、3月14日	11人
キッズルーム		2月7日	496人

■ 教育普及

〈平成22年度普及事業〉2010.4～2011.3

レクチャー	内 容	事業数/日数	参加人数
講演会		9事業/9日間	1,135人
四大浮世絵師展	演題/「写楽研究の最新線」 講師/浅野秀剛(大和文華館館長)	4月25日	85人
アントワープ王立美術館コレクション展	演題/「ベルギー 歴史文化の華麗なる諸相」 講師/小川秀樹(岡山大学教授)	6月13日	95人
手のなかの空 奈良原一高 1954-2004	「森山大道トーク」 講師/森山大道(写真家)	8月1日	131人
	演題/奈良原一高と私、そしてVIVO」 講師/細江英公(写真家)	8月15日	95人
	「トーフイベント」写真と神話」 佐野史郎(俳句・楽 崎友香(小説家)・藤本哲士(雑誌「Re:5」編集長)	8月22日	190人
生誕120年記念 河井寛次郎展	演題/「河井寛次郎の人間像を語る」 パネリスト/藤珠江(寛次郎の孫・河井寛次郎記念館学芸員)、多納弘光(出雲相談役)、森山雅夫(寛次郎の内弟子 温泉津・森山薫)	10月3日	163人
	演題/「印象派とは何か」 講師/ジヴェルニー 印象派美術館館長ディエゴ・カンディール	12月4日	79人
第57回 日本伝統工芸展	演題/「ちよとした木の仕事」 講師/村山明(木工芸・重要無形文化財保持者)	12月19日	120人
安野光雅の絵本展	演題/「絵本のはなし」 講師/安野光雅	3月21日	256人
美術講座		3事業/3日間	98人
手のなかの空 奈良原一高 1954-2004	演題/「奈良原一高」 講師/岡谷典子(当館学芸グループ課長)	8月8日	36人
生誕120年記念 河井寛次郎展	演題/「河井寛次郎について」 講師/藤間寛(当館調整監)	10月10日	42人
八雲立つ……美術に見る雲の表現～	演題/「八雲立つ……美術に見る雲の表現～」 講師/柳原一徳(当館主任学芸員)	1月23日	20人
企画展ギャラリートーク		32回	1,644人
ピーターラビット®の生みの親 ヒアトリクス・ポター展	学芸員による作品解説	4月11日	45人
四大浮世絵師展	オープニング・ギャラリートーク 講師/中右 球(本展監修者/国際浮世絵学会常任理事)	4月21日	104人
	学芸員による作品解説	5月4日、5月16日、5月22日	188人
アントワープ王立美術館 コレクション展	学芸員による作品解説	6月5日、6月19日、7月4 日、7月11日、7月17日	220人
手のなかの空 奈良原一高 1954-2004	学芸員による作品解説	8月6日、8月14日、8 月20日、8月29日、9 月5日、9月12日	270人
生誕120年記念 河井寛次郎展	学芸員による作品解説	9月25日、10月11日、10月24日	103人
	出品作家による各分野の展示作品解説① 山口松太(漆芸)	12月8日	33人
	出品作家による各分野の展示作品解説② 小川佳郁代(蒔工芸)	12月11日	63人
	出品作家による各分野の展示作品解説③ 土屋順紀(染織・重要無形文化財保持者)	12月12日	94人
第57回 日本伝統工芸展	出品作家による各分野の展示作品解説④ 前田昭博(陶芸)	12月18日	91人
	出品作家による各分野の展示作品解説⑤ 村山明(木工芸・重要無形文化財保持者)	12月19日	105人
	出品作家による各分野の展示作品解説⑥ 中村信壽(人形)	12月23日	76人
八雲立つ……美術に見る雲の表現～	学芸員による作品解説	1月10日、1月30日、 2月5日、2月13日	150人
安野光雅の絵本展	学芸員による作品解説	3月13日※ミュージアム7/15がイ ンク3月19日、3月27日	102人
コレクション展ギャラリートーク		34回	238人
日本画/日本書道展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	5月15日	5人
日本画/日本書道展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	6月26日	10人
日本画/日本書道展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	10月16日	5人
日本画/日本書道展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	11月21日	5人
日本画/日本書道展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	2月26日	5人
洋画/日本近代洋画① 風景画を中心に	学芸員による作品解説	5月15日	5人
洋画/日本近代洋画② 人物画を中心に	学芸員による作品解説	7月31日	5人
洋画/風土ゆかりの洋画家たち	学芸員による作品解説	12月5日	5人
西洋絵画/コレクションでたどるフ ランス近代絵画の流れ	学芸員による作品解説	6月26日	10人
西洋絵画/水とともに	学芸員による作品解説	10月23日	5人
西洋絵画/物語る絵画	学芸員による作品解説	2月12日	7人
版画/小さな版画	学芸員による作品解説	4月3日	5人
版画/最後の浮世絵師 小林清親	学芸員による作品解説	4月24日	5人
版画/芸術としての版画 大正昭和初期	学芸員による作品解説	6月6日	5人
版画/山陰風景 自然へのまなざし	学芸員による作品解説	7月3日	5人
版画/版画家 池田満寿夫	学芸員による作品解説	8月14日	5人
版画/版画の表現技法 銅版画	学芸員による作品解説	9月11日	5人
版画/白と黒の魅力	学芸員による作品解説	10月16日	5人
版画/葛飾北斎一掃物の変奏一	学芸員による作品解説	11月20日	10人
版画/歌川派一豊から伝馬、国芳まで	学芸員による作品解説	12月25日	12人
版画/伝馬の江戸名所絵一 (名所江戸百景)を中心に	学芸員による作品解説	1月29日	10人
版画/浮世絵◇雪景色	学芸員による作品解説	2月26日	10人
版画/染織◇重宝(木曾高島藩の法衣)	学芸員による作品解説	3月26日	10人
工芸/松平不昧と茶の湯	学芸員による作品解説	5月23日	5人
工芸/出雲のやきもの	学芸員による作品解説	8月29日	5人
工芸/意匠を楽しむ	学芸員による作品解説	2月20日	5人
写真/「フレーム」一切取る楽しさ	学芸員による作品解説	4月4日	5人
写真/アメリカの世紀	学芸員による作品解説	6月20日	14人
写真/写真神話SANIN	学芸員による作品解説	9月4日	15人
写真/モダン・フォグラフィ	学芸員による作品解説	1月9日	5人
彫刻・小企画/李 禹煥の点と線	学芸員による作品解説	6月26日	5人
彫刻・小企画/森山大道 サン パロロメノス・アリス	学芸員による作品解説	9月4日	15人

※講師の敬称略、肩書きは開催当時のものです ※事業日数はのべ日数で示しています ※指定管理者が実施したイベントを一部含め記載しています

彫刻・小企画/鮮やかな色彩 小泉清	学芸員による作品解説	12月5日	5人
彫刻・小企画/石見美術館コレクション 森諒外と交友の美術家たち	学芸員による作品解説	3月5日	5人
鑑賞ガイド		8事業	
四大浮世絵師展	「浮世絵物知双六」		
アントワープ王立美術館 コレクション展	「ようこそベルギーワールドへ アントワープ 王立美術館コレクション展鑑賞ガイド」		
手のなかの空 奈良原一高 1954-2004	「ようこそ 奈良原一高の写実の世界へ」		
生誕120年記念 河井寛次郎展	「鑑賞の菜」		
第57回 日本伝統工芸展	「穴道湖うさぎナビゲート 子ども鑑賞ガイド」		
八雲立つ……美術に見る雲の表現～	「八雲立つ……美術に見る雲の表現～展(パンフレット)」		
安野光雅の絵本展	「ふしぎさがし 鑑賞ガイド」		
石見美術館コレクション 森諒外と交友の美術家たち	「森諒外と交友の美術家たち 鑑賞ガイド」		
触れる・参加するコーナーの設置等		3事業	
四大浮世絵師展	浮世絵・指順スタンプコーナー		
アントワープ王立美術館コレクション展	データベース体験コーナー「[マグネットでマグリット]」		
第57回 日本伝統工芸展	継手・仕口の触れる展示コーナー		
作品鑑賞の補助となるクイズの作成		2事業	3,100人
生誕120年記念 河井寛次郎展	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	10月31日	400人
安野光雅の絵本展	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	3月13日	2,700人
創作活動等			
企画展開連		6事業/9日間	819人
手のなかの空 奈良原一高 1954-2004	「夏休みアート体験 キリ撮れ!光の写真 隊」 協力/島根大学教育学部	8月12日～15日	87人
生誕120年記念 河井寛次郎展	「手で触れる寛次郎作品～箱二講座とともに」	10月16日	39人
	公開講演「寛次郎作品のテクニク」 講師/森 山雅夫(寛次郎の内弟子 温泉津・森山薫)	11月3日	417人
第57回 日本伝統工芸展	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」 講師/長岡空雄(陶芸作家)	12月16日	147人
	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(もっこ)」 講師/村山勲達(木工作家)	12月17日	98人
八雲立つ……美術に見る雲の表現～	特別記念ワークショップ&インスタレーション「くも、もくく」～彫形さんつくる。霧子でわくわく雲のモビール作り教室」 講師/駒形亮己(デザイナー・造本作家)	1月16日	31人
その他		2事業/6日間	1,368人
	缶バッジづくり	8月8日、8月15日、8月22 日、10月31日、3月13日	1,127人
	絵本のよみかせ 協力/松江市立図書館	10月31日	241人
映画会・コンサート等			
映画上映		6作品/6日間	2,800人
ピーターラビット®の生みの親 ヒアトリクス・ポター展	上映作品/「英国ロイヤル・パレエ団 ピーターラビットと仲間たち」(キッズルーム開設)	4月4日	298人
四大浮世絵師展	上映作品/「写楽」	5月9日	237人
アントワープ王立美術館 コレクション展	上映作品/「劇場版アニメ/フランダースの犬」	6月27日	288人
八雲立つ……美術に見る雲の表現～	上映作品/「西遊記」	2月6日	187人
安野光雅の絵本展	上映作品/「山嵐大仏」(安野光雅のふるさと 瀬野ゆかりのイベント)	2月27日	152人
	上映作品/「トムとジェリー」	3月13日	1,638人
コンサート等		12事業/12日間	5,041人
	「ナイトミュージアム・the怪談」	5月7日	30人
	「サクスの魅力 サックス・アンサンブルの調べ」	6月20日	407人
	「七ヶ丘パロコンサート フランドルの星に導かれて」	7月4日	436人
	「六子ミニコンサート」	8月21日	310人
	「六子トークショー in ミュージアム」	8月21日	146人
	「ナイトミュージアム the「火の誓い」」	10月1日	36人
	「琴とギターのスーパーパフォーマンス」	10月17日	317人
	「クリスマス・コンサート」	12月23日	458人
	「ヴァイオリンとハーブ 愛の贈り物」	2月11日	717人
	「鑑賞」(安野光雅のふるさと 瀬野ゆかりのイベント)	3月6日	922人
	ミュージアムフェスティバル2011 「浜田真理子 in ミュージアム」	3月13日	746人
	「スプリング・ハズカム 春を呼ぶメロディー」	3月27日	516人
その他の活動			
【学校等】			
団体鑑賞(来場)			1136/3531人
団体鑑賞(来場)のうち解説対応	作品解説		21枚/699人
来館時対応(創作・鑑賞支援等)		5回/5日間	
職場体験・見学(児童・生徒対象)	美術館の仕事を知る	2枚/3日間	2枚/12人
出張授業	学校等に出向いて授業をおこなう	1枚/1日間	1枚/10人
教員研修(美術館主催)	講義・作品鑑賞・創作活動	1事業/1日間	23人
教員研修(連携)	松江市小学校園工部会研修および小学校 図画工作科教育講座の受入れ	1事業/2日間	のべ100人
教育体験ボランティア	島根大学の学生ワークショップ指導補助として受け入れ	春～夏	1枚/8人
教育活動評価委員会	島根大学の教育活動評価に参画	4日間	
学芸員実習	学芸員資格取得のための実習	5日間	22人
【一般】			
団体鑑賞(解説対応)	作品解説		23回/688人
まつえ市民大学	解説・講義	2回/2日間	のべ120人
くびき学園	解説・講義	3回/3日間	のべ90人
【子育て支援】			
託児サービス		10月31日	1人
キッズルーム		4月4日、3月13日	465人

■ 教育普及

〈平成23年度普及事業〉2011.4～2012.3

レクチャー 講演会	内 容	事業数/日数	参加人数
追悼 赤塚不二夫展	演題/スペシャルトーク「レレレの娘とらららの娘、父を語る」 赤塚りえ子(赤塚不二夫長女/ワンプロ代表)、手塚るみ子(手塚治虫長女/プランニングプロデューサー)	5月29日	180人
日本画の巨匠 生誕130年 松岡映丘展	演題/「松岡映丘の芸術」 講師/平瀬礼太(姫路市立美術館学芸係長)	6月19日	71人
宗廣コレクション 芹沢銈介展	演題/「コレクターが見た芹沢作品の魅力」 講師/宗廣陽助(絵織制作)	8月21日	125人
愛知県美術館コレクション展 くらしとデザイン	演題/「愛知県美術館のコレクションと日本の近代洋画」 講師/浅野徹(元愛知県美術館館長)	9月25日	35人
堀江友聲展	演題/「ロダンと日本の彫刻家たち」 講師/辰谷川三郎(当館館長)	10月9日、10月29日	84人
第58回日本伝統工芸展	演題/「秋・京都・丹後・出雲―幕末の絵師堀江友聲の足跡をたどる」 講師/村上勇(奥田元小由女美術館館長)	11月23日	78人
没後40年 伊東深水分展	演題/「伝工芸のいま、未来への発信」 講師/室瀬和美(調絵・重要無形文化財保持者)	12月11日	81人
石見美術館コレクション展 ファッションの20世紀	演題/「20世紀ファッションと森英恵のスタイル」 講師/森英恵(ファッションデザイナー)	2月5日	118人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	演題①/「編集者・花森安治(仮)」 講師①/高橋一清(社)松江観光協会 観光文化プロデューサー、元「別冊文藝春秋」編集長、元「文藝春秋臨時増刊」編集長 演題②/「暮らしの手帖」表紙画から見た花森安治」 講師②/矢野達(世田谷美術館主任学芸員)	3月25日	137人
美術講座		1事業/1日	42人
没後40年 伊東深水分展	演題/「伊東深水分の挑戦」 講師/田野葉月(当館主任学芸員)	1月9日	42人
企画展ギャラリートーク		25回	1,319人
安野光雅の絵本展	学芸員による作品解説	4月3日	42人
日本画の巨匠 生誕130年 松岡映丘展	学芸員による作品解説	6月12日、6月25日、7月3日、7月9日、7月17日	215人
宗廣コレクション 芹沢銈介展	学芸員による作品解説	8月7日、8月20日、8月27日	120人
愛知県美術館コレクション展 くらしとデザイン	学芸員による作品解説	10月2日、10月15日、10月30日、11月6日	133人
第58回 日本伝統工芸展	出品作家による各分野の展示作品解説① 前田昭博(陶芸・日本工芸会理事) 出品作家による各分野の展示作品解説② 須田真司(木竹工・日本工芸会理事) 出品作家による各分野の展示作品解説③ 室瀬和美(漆芸・重要無形文化財保持者) 出品作家による各分野の展示作品解説④ 森口邦彦(染織・重要無形文化財保持者) 出品作家による各分野の展示作品解説⑤ 秋山信子(人形・重要無形文化財保持者) 出品作家による各分野の展示作品解説⑥ 石田知史(諸工芸)	12月7日 12月10日 12月11日 12月17日 12月18日 12月23日	65人 50人 52人 120人 109人 63人
没後40年 伊東深水分展	学芸員による作品解説	1月2日、1月29日、2月4日、2月11日	230人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	学芸員による作品解説	3月4日、3月24日	120人
コレクション展ギャラリートーク		32回	318人
日本画/日本画展覧(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	5月22日	8人
日本画/日本画展覧(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	10月22日	10人
日本画/日本画展覧(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	2月12日	10人
日本画/日本画展覧(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	3月11日	10人
洋画/獨土ゆかりの洋画家たち2	学芸員による作品解説	4月10日	5人
洋画/日本近代洋画の展開2	学芸員による作品解説	7月30日	8人
洋画/画家たちの交友録	学芸員による作品解説	1月8日	10人
西洋絵画/水辺に憧れて	学芸員による作品解説	5月1日	8人
西洋絵画/フランス近代絵画の世界へようこそ	学芸員による作品解説	10月16日	10人
西洋絵画/色彩の戯れ―印象派からフォーヴィスムまで―	学芸員による作品解説	11月27日	7人
版画/浮世絵「花」爛漫	学芸員による作品解説	4月23日	10人
版画/歌川広重の(東海道五三次)	学芸員による作品解説	6月11日	10人
版画/浮世絵・ものしり語録	学芸員による作品解説	6月18日	10人
版画/水のある風景 運一―唐	学芸員による作品解説	7月16日	5人
版画/創作版画の粋 棟の会	学芸員による作品解説	9月3日	5人
版画/現代版画 小林政生ほか	学芸員による作品解説	10月8日	5人
版画/版画家・伊東深水分 浮世絵から学んだもの	学芸員による作品解説	1月14日	20人
版画/浮世絵・美人画名品選	学芸員による作品解説	2月25日	10人
版画/浮世絵にみる江戸の暮らし	学芸員による作品解説	3月31日	10人
工芸/松平不昧と出雲の工芸	学芸員による作品解説	6月4日	10人
工芸/出雲・布志名師―輸出陶器の時代	学芸員による作品解説	12月4日	8人
工芸/鳥居の漆芸―明治大正を中心―	学芸員による作品解説	1月28日	10人
写真/男と女	学芸員による作品解説	4月3日	8人
写真/杉本博司展	学芸員による作品解説	7月31日	10人
写真/フランスの写真	学芸員による作品解説	11月6日	12人
写真/美しい女たち	学芸員による作品解説	2月4日	8人
彫刻・小企画/近・現代の木彫―素材を活かす技術―	学芸員による作品解説	4月23日	6人
彫刻・小企画/橋本明治一師・松岡映丘の薫陶を受けて	学芸員による作品解説	7月2日	20人
彫刻・小企画/彫刻とマテリアル1	学芸員による作品解説	10月10日	6人
彫刻・小企画/堀江友聲展	学芸員による作品解説	11月5日	20人
美術館アートツアー	学芸員による作品解説	10月23日	5人
野外彫刻ミニガイドツアー	学芸員による作品解説	3月18日	24人

鑑賞補助	内 容	事業数/日数	参加人数
鑑賞ガイド		5事業	
日本画の巨匠 生誕130年 松岡映丘	「きらびやかな色と繊細な筆遣い 松岡映丘の世界」		
宗廣コレクション 芹沢銈介展	「芹沢銈介展 以呂者(いろは)読本」		
第58回日本伝統工芸展	「工芸展名人になるための秘伝の書」		
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	「くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界 鑑賞パンフレット」		
石見美術館コレクション展 ファッションの20世紀	「鑑賞ガイド」		
触れる・参加するコーナーの設置等		6事業	
追悼 赤塚不二夫展	赤塚マンガ読書コーナー 「答えて当たる赤塚キャラクター人気投票」コーナー	5月11日～16日 5月11日～16日	
宗廣コレクション 芹沢銈介展	「陣中(陣着)見舞いはがきをつくる」スタンプコーナー	企画展会期中	
第58回日本伝統工芸展	継手・仕口の触れる展示コーナー	企画展会期中	
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	「チケットをつかってしおりをつくる」コーナー 「暮らしの手帖」のバックカバーが全部読めようコーナー	企画展会期中 3月25日～31日	
作品鑑賞の補助となるクイズの作成		2事業/2日間	2,292人
愛知県美術館コレクション展 くらしとデザイン	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	10月23日	224人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界/コレクション展	イベントデーに合わせて作品に関するクイズを実施	3月18日	2,068人
創作活動等		事業数/日数	参加人数
企画展関連		6事業/9日間	715人
宗廣コレクション 芹沢銈介展	「夏休みアート体験 手作りひりて型絵染 かたたん! 芹沢ランチョン」 協力/島根大学教育学部	8月12日～15日	128人
愛知県美術館コレクション展 くらしとデザイン	「お面 de 似顔絵ワークショップ@島根県立美術館」 講師/タノイガ(アーティスト)	10月23日	92人
第58回 日本伝統工芸展	「拾った欠片を再生する試み―「なおよすとはどういうことか?」 講師/青野文昭(彫刻家)」 「作家による子どものための制作美演と作品鑑賞(もっこ)」 講師/村山勲彦(木工作家)」 「作家による子どものための制作美演と作品鑑賞(やきもの)」 講師/内田和寿(陶芸作家)」	10月30日 12月9日 12月15日	11人 81人 60人
没後40年 伊東深水分展	「公開美演 日本髪(結髪)美演」 実演/林照乃(結髪師)、村田孝子(ポーラ文化研究所研究員)	1月22日	343人
その他		4事業/5日間	1,319人
	「和文化シリーズ4 日本古来の結びの文化を楽しむ かざり結び・華やきのデクニック」1回目/花結び、2回目/水引 講師/武内範男、田中年子、平沢直子(日本結び文化学会)	7月31日	50人
	エコバッグづくり	10月23日、3月18日	677人
	宍道湖スケッチ	10月23日	22人
	缶バッジづくり	3月18日	570人
映画会・コンサート等		事業数/日数	参加人数
映画上映		9作品/8日間	1,983人
追悼 赤塚不二夫展	上映作品/「トキワ荘の青春」	5月15日	262人
日本画の巨匠 生誕130年 松岡映丘展	上映作品/「千年の恋 ひかる源氏物語」	6月26日	336人
	上映作品/「ローマの休日」	9月18日	165人
	上映作品/「ミッキー・マウス」	10月23日	146人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	上映作品/「アラバマ物語」	2月26日	91人
	上映作品/「世界名作童話」	3月18日	777人
石見美術館コレクション展 ファッションの20世紀	上映作品/「ココ・シャネル」	3月20日	135人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	上映作品/「東京物語」「お茶漬の味」	3月31日	71人
コンサート等		11事業/11日間	3,671人
	「ナイトライブ In ムージアム アニソン meets ジャズ」	5月14日	460人
	「七夕コンサート 琵琶と語りで聴く いにしへの恋ものがたり」	7月3日	506人
	「ナイトミュージアム The 源氏物語」	7月8日	40人
	「ひとりごと 源氏物語の世界」 語り/六嶋由美子	7月10日	345人
	「オカリナコンサート 夏の風が吹かれて」	8月28日	370人
	「エクランアンサンブルコンサート 奏でる祈り心から心へ」	11月3日	416人
	「クリスマスコンサート(ハンドベル)」	12月18日	450人
	「クリスマスコンサート(クリスマスソング)」	12月24日	276人
	「新春・琴アンサンブルコンサート」	1月15日	255人
	震災復興祈念特別企画「TSUNAMI」紙芝居公演+紙芝居原画の展示	3月11日	107人
	ミュージアムフェスティバル2012 「アスカ アカベラコンサート」	3月18日	446人
その他の活動		回数/日数	参加人数
【 学校等 】			
団体鑑賞作品解説	作品解説(※来場数は105校/3,541人)		20校(734人)
来館時対応	要請に応じ、学習内容に沿ったプログラムを実施	3回/3日間	
職場体験・取材学習	美術館の仕事を知る	2回/2日間	2校(12人)
教育体験ボランティア	島根大学の学生をワークショップ指導補助として受け入れ	春～夏	1校(7人)
学芸員実習	学芸員資格取得のための実習	8月24日～28日	21人
【 一般 】			
団体鑑賞作品解説	作品解説		32校(790人)
まつえ市民大学	解説・講義	2回/2日間	のべ120人
シマネスクにびき学園	解説・講義	3回/3日間	のべ90人
【 子育て支援 】			
キッズルーム		3月18日	293人

■ 教育普及

〈平成24年度普及事業〉2012.4～2013.3

レクチャー	内 容	事業数/日数	参加人数
講演会		8事業/8日間	872人
京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美	演題/なぜ女性は描かれるのか—女と男が描く女性の像の時代的意味について 講師/尾崎眞人(京都市美術館学芸課長)	7月8日	63人
民藝—手仕事の美	日本民藝短期学校公開講座 演題①/「柳宗悦と民藝運動」講師/杉山厚司(日本民藝館学芸部長) 演題②/「インドの手仕事の美—一村々に伝わる木版更紗の5000年の歴史を巡る—」講師/若立広子(若立フォーテキスタイルミュージアム館長)	7月27日	299人
生誕100年 松本竣介展	「演題/父・竣介、母・禎子、そして松江のこと」講師/松本完(建築家・松本竣介ご子息) 演題/「松本竣介という画家 わたしたちの同時代人として」講師/水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)	9月30日 10月14日	167人 58人
第59回 日本伝統工芸展	演題/「木版摺更紗・型的美を求めて」講師/鈴木滋人(木版摺更紗・重要無形文化財保持者[人間国宝])	12月16日	101人
風景版画の変容	演題/「近代日本版畫の潮流と渡邊版画店」講師/渡邊章一(渡邊木版美術画舗)	1月27日	84人
須田国太郎展 没後50年に顧みる	演題/「須田国太郎の東洋的精神」講師/原田平作(美術史家・大阪大学名誉教授) 演題/「父・須田国太郎の思い出」講師/須田寛(須田国太郎ご子息)	2月16日 3月24日	46人 54人
美術講座		4事業/4日間	95人
生誕100年 松本竣介展	演題/「松本竣介—その多彩な表現、多様な魅力」講師/柳原一徳(当館主任学芸員)	11月3日	36人
風景版画の変容	演題/「風景版画の流れ(上)—北斎・広重から小林清親まで」講師/大森祐士(当館主任学芸員) 演題/「風景版画の流れ(下)—小林清親から平塚運一まで」講師/田野葉月(当館主任学芸員)	1月12日 1月19日	29人 10人
須田国太郎展 没後50年に顧みる	演題/「旅する画家—須田国太郎が見た山嶺」講師/左近充直美(島根県立石見美術館専門学芸員)	3月17日	20人
企画展ギャラリートーク		28回	1,512人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	学芸員による作品解説	4月1日	86人
京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美	オープニングギャラリートーク 潮江宏三(京都市美術館館長)	6月8日	54人
民藝—手仕事の美	学芸員による作品解説	6月10日、6月24日、6月30日、7月7日、7月15日	257人
生誕100年 松本竣介展	オープニングギャラリートーク 杉山厚司(日本民藝館学芸部長)と学芸員による解説	7月27日	68人
第59回 日本伝統工芸展	学芸員による作品解説	8月18日、8月26日、9月8日	142人
風景版画の変容	学芸員による作品解説	10月8日、10月21日、10月27日、11月4日	151人
第59回 日本伝統工芸展	出品作家による各分野の展示作品解説① 前田昭博(陶芸・日本工芸会常任理事) 出品作家による各分野の展示作品解説② 久保かよ子(縫芸・本年度縫芸部門第1次審査委員) 出品作家による各分野の展示作品解説③ 鈴木滋人(染織・重要無形文化財保持者) 出品作家による各分野の展示作品解説④ 三門靖子(人形・本年度人形部門第1次審査委員) 出品作家による各分野の展示作品解説⑤ 櫻井久明(木竹工・本年度木竹部門第1次審査委員) 出品作家による各分野の展示作品解説⑥ 大谷早人(漆芸・日本工芸会監事)	12月12日 12月15日 12月16日 12月22日 12月23日 12月24日	64人 37人 150人 54人 63人 78人
風景版画の変容	学芸員による作品解説	1月5日、1月13日、2月2日	141人
須田国太郎展 没後50年に顧みる	オープニングギャラリートーク 原田平作(美術史家・大阪大学名誉教授) 学芸員による作品解説	2月15日 2月24日、3月10日、3月30日	48人 119人
コレクション展ギャラリートーク		37回	347人
日本画/日本画複製品展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	6月16日	5人
日本画/日本画複製品展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	8月5日	7人
日本画/日本画複製品展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	11月10日	6人
日本画/日本画複製品展(四季を愉しむ)	学芸員による作品解説	3月9日	5人
洋画/具象と抽象	学芸員による作品解説	4月15日	6人
洋画/描く人、描かれる人—黒田清輝から郷土の画家まで	学芸員による作品解説	7月21日	2人
洋画/水辺の風景・山嶺の風景	学芸員による作品解説	11月10日	6人
洋画/独立美術協会と昭和の洋画界	学芸員による作品解説	3月16日	5人
西洋絵画/写実の魅力	学芸員による作品解説	4月22日	6人
西洋絵画/コロニー・クールベ、モネ…水辺を愛した画家たち	学芸員による作品解説	8月19日	7人
西洋絵画/人を描く、風景を描く	学芸員による作品解説	10月27日	7人
西洋絵画/風景画の変容—「バルビゾン派」印象派からフォービズムまで	学芸員による作品解説	2月23日	2人
版画/広重が描いた東海道	学芸員による作品解説	5月5日	10人
版画/広重の諸国名所絵	学芸員による作品解説	6月9日	10人
版画/長崎版画と開港期の浮世絵	学芸員による作品解説	7月14日	10人
版画/浮世絵☆動物園	学芸員による作品解説	8月12日	10人
版画/山本容子 軽やかな線の魅力	学芸員による作品解説	9月22日	13人
版画/平塚運一—都市がもつ表情	学芸員による作品解説	10月20日	5人
版画/平塚運一—模写像の追及	学芸員による作品解説	12月2日	8人
版画/平塚運一—アメリカに新天地を得て	学芸員による作品解説	2月2日	8人
版画/現代版画 オノサ×草間	学芸員による作品解説	3月23日	8人
工芸/平塚運一と出雲の茶道文化	学芸員による作品解説	6月3日	5人
工芸/島根のやきもの	学芸員による作品解説	10月20日	8人
工芸/漆工芸の美	学芸員による作品解説	2月3日	7人
写真/ロバート・フランク/ウィリアム・クライン/森山大道	学芸員による作品解説	7月29日	10人

*講師の敬称略、肩書きは開催当時のものです *事業日数はのべ日数で示しています
*指定管理者が実施したイベントを一部含め記載しています

写真/ビクトリアリスム	学芸員による作品解説	11月4日	10人
写真/動物・風景	学芸員による作品解説	3月31日	10人
彫刻・小企画/島根県立石見美術館コレクション ファッションの20世紀	学芸員による作品解説	4月8日	10人
彫刻・小企画/受贈記念 原清 陶芸展	学芸員による作品解説	4月20日	60人
彫刻・小企画/清水久兵衛のメット	学芸員による作品解説	7月28日	8人
彫刻・小企画/遠藤利克	学芸員による作品解説	12月9日	5人
彫刻・小企画/島根の木彫	学芸員による作品解説	3月3日	7人
バックヤードツアー	学芸員による作品解説	3月20日、3月24日	32人
野外彫刻ミニガイドツアー	学芸員による作品解説	9月16日、10月8日、10月21日、(11月11日は雨天のため中止)、3月18日	29人
鑑賞補助	内 容	事業数/日数	参加人数
鑑賞ガイド		8事業	
京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美	「麗しき女性の美 鑑賞の手鑑」		
民藝—手仕事の美	「民芸を[観]じるための鑑賞ガイド 民藝、手仕事への言葉」 「探検マップ」		
生誕100年 松本竣介展	「竣介ノート」		
第59回 日本伝統工芸展	「どの作品かな?探してみよう」		
風景版画の変容	「風景版画鑑賞カルタ」		
須田国太郎展 没後50年に顧みる	「こども鑑賞ガイド」		
受贈記念 原清 陶芸展	冊子		
触れる・参加するコーナーの設置等		4事業	
京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美	紅点し体験 玉虫色の口紅を試しづけるコーナー	6月17日	63人
民藝—手仕事の美	はがきコーナー	企画展会期中	-
風景版画の変容	年賀はがきを送ろうコーナー	企画展会期中	-
須田国太郎展 没後50年に顧みる	おしゃべり伝言板	2月26日～4月1日	126人
創作活動等	内 容	事業数/日数	参加人数
企画展開連		7事業/11日間	561人
京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美	「伝統的な口紅にふれる」1.紅点し体験、2.こども講座「紅ってなあに」 講師/立川亜里沙(伊勢半本店 紅ミュージアム学芸員)、佐々木宗臣(伊勢半本店 紅職人)	6月17日	21人
民藝—手仕事の美	「夏休みアート体験 職人技を手に入ろうゆらで手作りウォールポケット」 協力/島根大学教育学部	8月11日～14日	128人
生誕100年 松本竣介展	「河井寛次郎の器でお茶を飲む」 講師/鶴珠江(河井寛次郎記念館学芸員)	8月25日	28人
第59回 日本伝統工芸展	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」 講師/内田和秀(陶芸作家)	12月14日	65人
風景版画の変容	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(にんぎょ)」 講師/吉郷江美子(人形作家)	12月18日	69人
その他		3事業/32日間	3,656人
夏休み「チェコアニメ・パーク」関連展示	短編アニメ上映や珍しい絵本展示(ギャラリー1室)	8月8日～27日 休館日を除く	2,770人
民藝—手仕事の美 関連展示	「暮らしに息づく、手仕事の美 民藝展」島根の新民芸を展示	7月27日～8月6日 休館日を除く	810人
民藝—手仕事の美 関連バスツアー	「民芸ツアー」～民芸の「技」「語り」「味」を楽しむ初秋の旅2012～	9月2日、9月9日、9月16日	76人
映画会・コンサート等	内 容	事業数/日数	参加人数
映画上映		10作品/26日間	2,445人
くらしとデザイン 「暮らしの手帖」花森安治の世界	上映作品/「麦秋」「晩春」	4月1日	126人
京都市美術館 日本画名品展 麗しき女性の美	上映作品/「古都」	7月1日	264人
夏休み「チェコアニメ・パーク」	上映作品/「雪女」「屋根裏のボムネンカ」	8月8日～27日	1,493人
	上映作品/「哀愁」	10月20日	61人
	上映作品/「我が道を行く」	11月25日	65人
	上映作品/「カサブランカ」	1月14日	141人
	上映作品/「誰かのために鐘は鳴る」	2月17日	190人
	上映作品/「ローマの休日」	3月20日	105人
コンサート等		6事業/6日間	2,201人
	「七夕ロビーコンサート 二胡コンサート」	7月7日	500人
	「トワイライトコンサート 民(た)みのうた」	8月18日	168人
	「山陰フィルハーモニー弦楽アンサンブル」	11月4日	438人
	「クリスマスコンサート」	12月24日	410人
	「新春初笑い美術館落語会」	1月20日	190人
	「アラムコギターコンサート スペインの風に乗って」	3月10日	495人
その他の活動	内 容	回数/日数	参加人数
【学校等】			
団体鑑賞作品解説	作品解説(※来場数は74校/2,575人)	12校(603人)	
来館時対応	要請に応じ、学習内容に沿ったプログラムを実施	3回/3日間	-
職場体験・取材学習	1回/3日間	1校(2人)	
教育体験ボランティア	島根大学の学生をワークショップ指導補助として受け入れ	春～夏	1校(8人)
学芸員実習	学芸員資格取得のための実習	8月22日～26日	23人
【一般】			
団体鑑賞作品解説	作品解説	18団体(376人)	
まつえ市民大学	解説・講義	2回/2日間	のべ120人
シマノスズクにびき学園	解説・講義	3回/3日間	のべ90人

■ 教育普及

〈平成25年度普及事業〉2013.4~2014.3

レクチャー	内 容	事業数/12日間	参加人数
講演会		12事業/12日間	1,448人
堂本印象展 一新たなる美の創造をめざしてー	演題/スペシャルトーク「師・堂本印象の思い出」 講師/三輪寛人(日本画家、京都府立堂本印象美術館館長、堂本印象の甥・弟子)、山田由希代(京都府立堂本印象美術館主任学芸員)	4月27日	92人
不昧の茶	演題/「不昧の茶」 講師/島田康寛氏(美術評論家、前京都府立堂本印象美術館館長)	5月26日	70人
佐伯祐三とパリのポスターのある街角	演題/「佐伯祐三と1920年代のパリ」 講師/熊田司(和歌山県立近代美術館館長)	7月21日	78人
出雲阿国展 一初期歌舞伎図から寛文美人図まで	演題/「阿国とその時代-出雲国を中心に-」 講師/藤岡大祐(松江歴史館館長)	9月29日	190人
	演題/「カバキモノと歌舞伎の記憶-路上、舞台、そして絵の中-」 講師/奥平俊六(美術史家 大阪大学大学院教授)	10月5日	97人
	演題/「かぶく出雲の阿国-阿国歌舞伎の再現-」 講師/小笠原匡(能楽師狂言方と泉流 重要無形文化財総合指定保持者)	10月14日	190人
	演題/「阿国の幻影を求めて-近世風俗画における女性像-」 講師/狩野博幸(美術史家 同志社大学教授)	10月26日	107人
第60回 日本伝統工芸展	演題/「私と白磁」 講師/前田昭博(白磁・重要無形文化財保持者(人間国宝))	12月15日	190人
色のたのしさ 一島根県立美術館コレクションを中心にー	演題/「日本の古代色」 講師/吉岡幸雄(染色家・染物よしかみ五代目当主・「紫紅社」代表)	2月2日	190人
水辺のアルカディア ピュヴィスド・シャヴァンヌの神話世界	演題/「ピュヴィスド・シャヴァンヌ-水辺のアルカディア」 講師/エム・ブライアン・プライス(美術史家・本展監修者)	3月21日	100人
生誕130年記念 小村大雲	演題/「小村大雲とその時代」 講師/白根敬昭(東京富士美術館前学芸部長)	3月29日	40人
美術講座		2事業/2日間	48人
佐伯祐三とパリのポスターのある街角	演題/「壁と文字-佐伯祐三の表現について」 講師/帯刀榮緒(当館学芸員)	8月3日	22人
出雲阿国展 一初期歌舞伎図から寛文美人図まで	演題/「歌舞伎の造形化-出雲阿国を中心として」 講師/大森拓土(当館主任学芸員)	10月13日	26人
企画展ギャラリートーク		23回	1,334人
堂本印象展 一新たなる美の創造をめざしてー	オープニングギャラリートーク 山田由希代(京都府立堂本印象美術館主任学芸員)	4月26日	53人
	学芸員による作品解説	4月28日、5月12日、5月19日、6月8日	121人
佐伯祐三とパリのポスターのある街角	オープニングギャラリートーク 菅谷富夫(大阪新美術館建設準備室研究主幹)	7月5日	70人
	学芸員による作品解説	7月7日、7月27日、8月11日、9月8日	250人
出雲阿国展 一初期歌舞伎図から寛文美人図まで	学芸員による作品解説	9月28日、10月6日、10月19日	110人
	出品作家による各分野の展示作品解説① 福井植(染織、日本工芸会正会員)	12月11日	106人
	出品作家による各分野の展示作品解説② 川北良造(木竹工、重要無形文化財保持者(人間国宝))	12月14日	63人
	出品作家による各分野の展示作品解説③ 前田昭博(陶芸、重要無形文化財保持者(人間国宝))	12月15日	164人
	出品作家による各分野の展示作品解説④ 中村信高(人形、日本工芸会理事)	12月21日	68人
	出品作家による各分野の展示作品解説⑤ 斎藤和夫(漆芸、重要無形文化財保持者(人間国宝))	12月22日	74人
	出品作家による各分野の展示作品解説⑥ 小川恒都代(繕工芸、本年度繕工芸部門第一次審査委員)	12月23日	43人
色のたのしさ 一島根県立美術館コレクションを中心にー	学芸員による作品解説	1月19日、2月8日、2月16日	84人
水辺のアルカディア ピュヴィスド・シャヴァンヌの神話世界	学芸員による作品解説	3月22日	50人
コレクション展ギャラリートーク		33回	387人
日本画/日本画優品選	学芸員による作品解説	7月13日	6人
日本画/日本画優品選	学芸員による作品解説	9月7日	7人
日本画/日本画優品選	学芸員による作品解説	11月23日	8人
日本画/日本画優品選	学芸員による作品解説	1月25日	10人
洋画/近代洋画の名品	学芸員による作品解説	7月28日	6人
洋画/絵の中のアイドルたち-描かれた子どもと動物	学芸員による作品解説	11月2日	8人
洋画/「いろ・かたち」とあそぶ	学芸員による作品解説	2月1日	8人
西洋絵画/水辺を描いた画家たち	学芸員による作品解説	7月20日	8人
西洋絵画/人物を描く	学芸員による作品解説	10月12日	7人
西洋絵画/色彩の魅力	学芸員による作品解説	1月18日	8人
版画/浮世絵のなかの花	学芸員による作品解説	5月4日	10人
版画/広重の江戸名所絵	学芸員による作品解説	6月8日	10人
版画/異国をみつめて	学芸員による作品解説	7月6日	7人
版画/池田満寿夫の天使たち	学芸員による作品解説	8月24日	10人
版画/小豆な宇田木口木版	学芸員による作品解説	9月22日	8人
版画/近代版画にみる人画・次役者絵	学芸員による作品解説	10月27日	1人
版画/創作版画家たちの年賀状	学芸員による作品解説	12月1日	5人
版画/現代版画 李再煥	学芸員による作品解説	1月11日	15人
版画/広重・染楽の木曾海道六帖九次	学芸員による作品解説	3月1日	10人
工芸/河井寛次郎	学芸員による作品解説	8月31日	8人
工芸/島根の工芸	学芸員による作品解説	11月30日	8人
工芸/島根の近代陶芸	学芸員による作品解説	2月22日	10人
写真/植田正治とその時代	学芸員による作品解説	7月28日	23人
写真/ヨーロッパ・静止した時間	学芸員による作品解説	11月4日	12人
写真/黒の魅惑	学芸員による作品解説	2月23日	12人
彫刻・小企画/不昧の茶	学芸員による作品解説	5月25日	65人
彫刻・小企画/青木世一	学芸員による作品解説	9月21日	7人

彫刻・小企画/小村大雲	学芸員による作品解説	3月16日	22人
バックヤードツアー	学芸員による作品解説	8月17日、8月18日	42人
野外彫刻ミニガイドツアー	学芸員による作品解説	5月3日、5月6日、10月27日、(11月3日雨天のため中止)	26人
鑑賞補助	内 容	事業数/12日間	参加人数
鑑賞ガイド		8事業	
不昧の茶	「不昧の茶」		
堂本印象展 一新たなる美の創造をめざしてー	「近代日本画ガイドブック」		
佐伯祐三とパリのポスターのある街角	「鑑賞ガイド」		
出雲阿国展 一初期歌舞伎図から寛文美人図まで	「探して 読んで わかる 楽しい鑑賞ガイド」		
第60回 日本伝統工芸展	「子ども鑑賞ガイド工芸ずかん」		
色のたのしさ 一島根県立美術館コレクションを中心にー	「鑑賞ガイド」		
水辺のアルカディア ピュヴィスド・シャヴァンヌの神話世界	「子ども鑑賞ガイド」		
生誕130年記念 小村大雲	「鑑賞ガイド」		
その他ガイド(学校団体向け)		1事業	
	「しまびガイドマップ」		
触れる・参加するコーナーの設置等		2事業	
色のたのしさ 一島根県立美術館コレクションを中心にー	「印刷の仕組みを知ろう」、「監視パネル」体験コーナーの設置	企画展会期中	
	「関連!? 色おみくじ」	1月2日~12日	864人
作品鑑賞の補助となるクイズの作成		1事業/1日間	1,551人
水辺のアルカディア ピュヴィスド・シャヴァンヌの神話世界	イベントデーに合わせ作品に関するクイズを実施	3月23日	1,551人
創作活動等	内 容	事業数/12日間	参加人数
企画展関連		7事業/10日間	529人
堂本印象展 一新たなる美の創造をめざしてー	「しじみ」が絵具になる!?」	4月29日	37人
佐伯祐三とパリのポスターのある街角	「立体ミアート体験 佐伯の絵からとびだした立体で作るパリの街」 協力/島根大学教育学部	8月10日~13日	118人
出雲阿国展 一初期歌舞伎図から寛文美人図まで	「公開実演 歌舞伎のこしらえ」 講師/渡部良治(出雲歌舞伎むらくも座座長)ほか	10月20日	100人
	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(にんぎょう)」 講師/吾郷江美子(人形作家)	12月12日	65人
第60回 日本伝統工芸展	「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やまもひ)」 講師/日次潤(陶芸作家)	12月13日	88人
	「新年おめでとう体験~自分だけのオリジナルマイ食器を作ろう」 講師/日次潤(陶芸作家)	12月22日	50人
色のたのしさ 一島根県立美術館コレクションを中心にー	「やってみよう色実験」	2月23日	71人
その他		6事業/7日間	1,053人
不昧の茶 関連イベント	呈茶席(不昧流不昧会、不昧流大円会)	5月18日、5月25日	287人
	「ワークショップ 出雲民芸紙で灯作り」 講師/安部巳國枝(安部楽四郎記念館学芸員)	6月8日	8人
	小泉八雲記念館企画展「ヘルンさんとタヨウ星人」協力ワークショップ「ちんげんさいのタヨウ星人わーど タヨウ星人アートであそぼーまっ。」 講師/河津登志元	8月4日	30人
水辺のアルカディア ピュヴィスド・シャヴァンヌの神話世界	オリジナル草かむりを作ろう	3月23日	158人
	みんなで作ろう シャヴァンヌ大壁画	3月23日	200人
	缶バッジづくり	3月23日	370人
映画会・コンサート等	内 容	事業数/12日間	参加人数
映画上映		5作品/5日間	644人
	上映作品/「ハムレット」	6月2日	118人
	上映作品/「巴里のアメリカ人」	7月14日	107人
	上映作品/「シャレード」	9月1日	151人
	上映作品/「黄色いリボン」	1月26日	91人
	上映作品/「雨の朝巴里に死す」	3月30日	177人
コンサート等		7事業/7日間	2,086人
	「出雲神代神楽 in ミュージアム」	5月5日	453人
	「響き合う弦楽の調べ」	5月19日	509人
	「トワイライトコンサート パリの街角から」	7月27日	170人
	「ナイトイベント 名画をいどる話芸と音楽in松江」	10月16日	94人
	「出雲歌舞伎公演 日本振袖始 簾の川 大蛇退治の場」	10月20日	190人
	「クリスマスコンサート」	12月22日	480人
	「しまび寄席 桂吾弥」	2月11日	190人
その他の活動	内 容	回数/12日間	参加人数
【新規事業】			
学校団体の昼食利用	鑑賞目的での学校団体の昼食場所をご提供する		13校
かぞくの時間	平成25年7月11日より、毎週木曜日の午前中に「子どもといっしょの鑑賞優先時間」「ミニミニアート体験」実施	38日間/企画展鑑賞210人、コレクション展鑑賞144人、アート体験92人	
【学校等】			
団体鑑賞作品解説	作品解説(※来場数は103校/3005人)		20校(734人)
来館時対応	要請に応じ、学習内容に沿ったプログラムを実施	7回/7日間	
職場体験・取材学習	美術館の仕事を知る	1回/3日間	1校(2人)
教育体験ボランティア	島根大学の学生をワークショップ指導補助として受け入れ	春~夏	1校(7人)
学芸員実習	学芸員資格取得のための実習	8月26日~30日	14人
【一般】			
団体鑑賞作品解説	作品解説(※来場数は82団体/2273人)		18回(557人)
まつえ市民大学	解説・講義	2回/2日間	のべ約120人
シマネスクスにびき学園	解説・講義	3回/3日間	のべ約90人
【子育て支援】			
キッズルーム		8月25日、3月23日	369人



その他

活動データ
関係県例規
建築設備
他

■ 入館者の状況

■ 企画展

(単位:人)

平成10年度		36,591
水の物語	3/6~3/31	36,591
平成11年度		310,836
水の物語	4/1~5/9	73,315
(水の物語累計)		(109,906)
日展	5/22~6/13	74,519
乾山と京のやきもの展	6/26~7/25	32,690
ロザン展	7/31~8/29	34,360
島根の美術	9/10~10/31	30,593
県展	11/16~28	12,181
ラファエル・コラン展	12/4~1/16	20,222
西洋絵画500年の巨匠たち展	2/19~3/26	32,956
平成12年度		182,217
河井寛次郎と棟方志功展	4/7~5/14	38,986
日本の美-笑い-展	5/23~6/25	17,293
ポルドー美術館展	7/1~8/16	33,282
東京芸大美術館名品展	9/9~10/22	48,123
県展	11/18~26	8,479
梅原龍三郎展	12/22~2/4	15,693
イギリス・フランス近代名画展	2/20~3/31	20,361
平成13年度		204,730
イギリス・フランス近代名画展	4/1	1,846
(イギリス・フランス近代名画展累計)	2/20~4/1	(22,207)
松平不昧展	4/14~5/13	64,913
いわさきちひろ展	5/25~7/1	45,777
写真の歴史160年展	7/7~8/19	12,940
黄金の至宝展	8/25~9/24	34,670
佐藤忠良・舟越保武二人展	10/5~11/4	8,487
県展	11/17~11/25	10,657
日本のわざと美	11/30~12/23	6,247
イタリア彫刻の20世紀	1/2~2/24	10,110
ウィーンの春	3/5~3/31	9,083
平成14年度		180,642
ウィーンの春	4/1~4/21	8,097
(ウィーンの春累計)		(17,180)
日展	4/27~5/19	51,861
世界遺産 ポンペイ展	6/7~7/21	29,104
ルドン展	8/2~9/23	16,423
西洋の美・日本の美	10/5~11/4	31,965
県展	11/16~11/24	10,377
第49回日本伝統工芸展	12/4~12/23	12,514
大倉集古館の名品	1/2~2/16	13,843
森山大道 1965-2003	3/1~3/30	6,458
平成15年度		130,837
森山大道 1965-2003	4/1~4/6	1,881
(森山大道 1965-2003累計)		(8,339)
上海博物館展	4/17~6/15	16,965
斎藤義重展	7/6~8/16	5,337
モネと印象派の画家たち	8/22~10/13	57,512
県展	11/15~11/24	8,836
第50回日本伝統工芸展	12/10~12/23	8,490
生誕100年 橋本明治展	1/2~2/15	9,852
THE ドラえもん展	3/5~3/31	21,964

(単位:人)

平成16年度		98,400
THE ドラえもん展	4/1~4/11	12,497
(THE ドラえもん展累計)	3/5~4/11	(34,461)
昭和前期の洋画1923-1945	4/23~5/30	8,364
ジョルジュ・ルオー展	6/11~7/19	11,158
京都国立近代美術館所蔵日本画名品展	7/30~8/29	9,239
徳川美術館名品展	9/10~10/11	28,383
県展	11/13~11/23	8,799
第51回日本伝統工芸展	12/8~12/23	8,109
唐三彩展	1/2~2/27	8,378
ギュスターヴ・モロー展	3/19~3/31	3,473
平成17年度		111,005
ギュスターヴ・モロー展	4/1~5/22	18,014
(ギュスターヴ・モロー展累計)	3/19~5/22	(21,487)
若冲と琳派	6/3~7/10	9,674
サントリー美術館名品展	7/22~8/28	11,722
ミュシャ展	9/16~11/6	31,093
県展	11/19~11/27	8,553
第52回日本伝統工芸展	12/7~12/23	6,201
スイス・スピリッツ	1/2~2/24	9,122
岡本太郎展	3/4~3/31	16,626
平成18年度		162,379
岡本太郎展	4/1~4/9	11,323
(岡本太郎展累計)	3/4~4/9	(27,949)
日展	4/22~5/14	44,906
ミッフィー展	5/26~7/10	45,311
前田青邨展	7/22~8/27	11,189
田園への誘い	9/6~11/6	16,068
県展	11/18~11/26	8,108
第53回日本伝統工芸展	12/6~12/23	8,359
平塚運一展	1/2~2/26	11,088
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢	3/9~3/31	6,027
平成19年度		99,515
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢	4/1~5/6	12,978
(ルソーの見た夢、ルソーに見る夢累計)	3/9~5/6	(19,005)
有元利夫展	5/18~7/16	8,910
高総文祭	7/29~8/2	5,189
竹久夢二展	8/10~9/17	21,992
モディリアアーニと妻ジャンヌの物語展	9/29~11/5	20,433
県展	11/17~11/25	7,951
第54回日本伝統工芸展	12/5~12/24	8,674
島根の近代日本画家五人展	1/2~2/18	8,071
パリ-ニューヨーク20世紀絵画の流れ	3/7~3/31	5,317
平成20年度		126,433
パリ-ニューヨーク20世紀絵画の流れ	4/1~5/11	9,791
(パリ-ニューヨーク20世紀絵画の流れ累計)	3/7~5/11	(15,108)
江戸と明治の華展	5/31~7/7	9,039
ジョットとその遺産展	7/18~9/1	17,025
エリック・カール展	9/19~11/3	48,977
県展	11/15~11/23	9,002
第55回日本伝統工芸展	12/10~12/24	7,302
版!	1/2~2/23	6,208
開館10周年記念展	3/6~3/31	19,089
(開館10周年記念展累計)	3/6~5/31	(80,944)

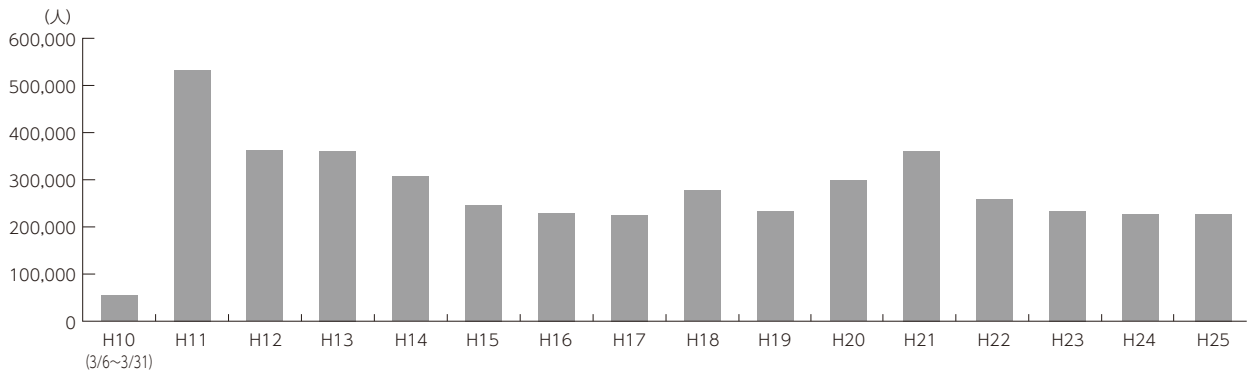
■ 入館者の状況

■ 企画展

(単位:人)

平成21年度		
開館10周年記念展	4/1～5/31	61,855
(開館10周年記念展累計)		(80,944)
新発見!エジプト展	6/10～7/26	51,814
橋本閑雪展	8/5～9/14	15,398
桃山・江戸の美	10/1～11/9	18,824
県展	11/21～11/29	8,293
日本伝統工芸展	12/9～12/25	8,013
浮世絵遊覧	1/2～2/15	22,907
ピアトリクス・ポター展	3/5～3/31	14,676
平成22年度		113,093
ピアトリクス・ポター展	4/1～4/12	9,693
(ピアトリクス・ポター展累計)		(24,369)
四大浮世絵師展	4/21～5/26	19,893
アントワープ王立美術館コレクション展	6/4～7/19	16,056
奈良原一高展	7/30～9/13	10,429
河井寛次郎展	9/23～11/7	14,889
県展	11/20～11/28	8,406
日本伝統工芸展	12/8～12/26	7,159
八雲立つ...	1/2～2/14	8,979
安野光雅展	2/25～3/31	17,589
平成23年度		100,830
安野光雅展	4/1～4/11	7,724
(安野光雅展累計)		(25,313)
赤塚不二夫展	4/22～5/30	19,003
松岡映丘展	6/10～7/18	8,169
芹沢銈介展	7/29～9/5	12,730
愛知県美術館コレクション展	9/17～11/7	12,105
県展	11/19～11/27	9,409
日本伝統工芸展	12/7～12/25	6,911
伊東深水展	1/2～2/13	13,205
くらしとデザイン	2/24～3/31	11,574
平成24年度		98,319
くらしとデザイン	4/1～4/9	3,699
(くらしとデザイン累計)		(15,273)
日展	4/22～5/30	26,501
麗しき女性の美	6/8～7/16	10,778
民藝展	7/27～9/17	18,831
松本竣介展	9/29～11/11	10,314
県展	11/24～12/2	9,137
日本伝統工芸展	12/12～12/25	5,605
風景版画の変容	1/2～2/4	6,601
須田国太郎展	2/25～3/31	6,853
平成25年度		69,352
須田国太郎展	4/1	354
(須田国太郎展累計)		(7,207)
堂本印象展	4/26～6/10	9,606
佐伯祐三とパリ	7/5～9/16	20,135
出雲阿国展	9/27～11/4	13,107
県展	11/23～12/1	7,085
日本伝統工芸展	12/11～12/25	6,544
色のたのしさ	1/2～3/3	8,145
水辺のアルカディア	3/20～3/31	4,376

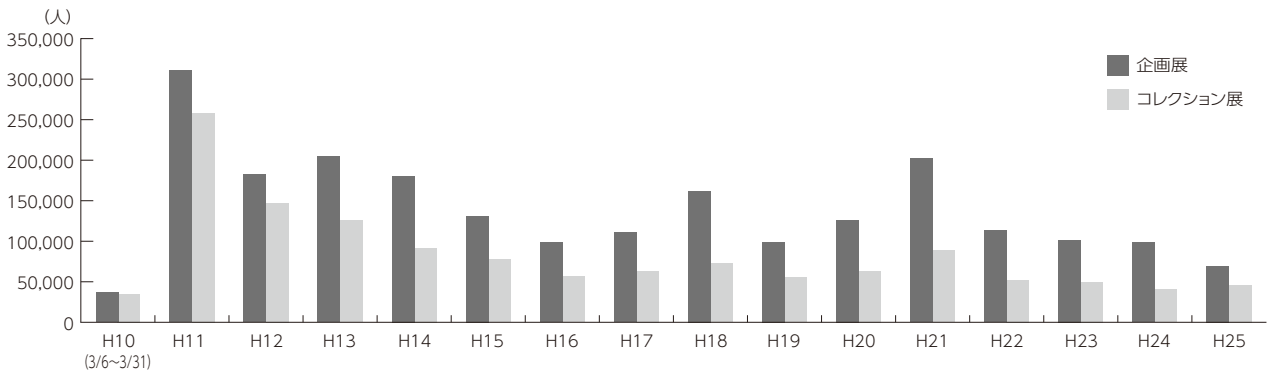
■入館者数の推移



(単位: 人)

	H10 (3/6~3/31)	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
入館者数	54,979	532,755	361,614	361,188	306,854	246,656	229,144	225,336	277,605	232,324	298,099	362,085	257,179	234,846	225,890	228,879
平日	24,375	237,329	158,572	147,012	127,855	107,841	103,967	96,854	117,581	100,030	124,464	148,730	109,770	101,007	102,980	106,363
土日祝日	30,604	295,426	203,042	214,176	178,999	138,815	125,177	128,482	160,024	132,294	173,635	213,355	147,409	133,839	122,910	122,516
1日平均	732	1,665	1,159	1,161	983	793	732	718	887	738	955	1,168	827	750	722	734

■展覧会別入場者数



(単位: 人)

	H10 (3/6~3/31)	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
延数 (企画展+コレクション展)	71,811	568,903	329,063	330,228	272,250	208,195	154,840	174,645	234,851	154,877	189,968	290,719	166,030	150,284	138,786	115,631
企画展	36,591	310,836	182,217	204,730	180,642	130,837	98,400	111,005	162,379	99,515	126,433	201,780	113,093	100,830	98,319	69,352
コレクション展	35,220	258,067	146,846	125,498	91,608	77,358	56,440	63,640	72,472	55,362	63,535	88,939	52,937	49,454	40,467	46,279

■ 予算概要

■ 島根県立美術館の予算概要

1. 支出実績

(1) 展覧会・普及事業費

(単位：千円)

項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
展覧会事業費	308,090	205,000	215,826	205,748	166,571	162,038
企画展示費	258,090	170,000	180,826	170,748	135,321	129,180
常設展示費	50,000	35,000	35,000	35,000	31,250	32,858
教育普及費	30,000	30,000	27,031	22,562	20,589	5,000
調査研究費	1,720	2,100	2,100	1,869	1,988	494
情報提供事業費	15,000	6,660	25,000	9,000	4,750	200
映像ソフト	10,000	5,000	20,000	5,000	0	0
その他	5,000	1,660	5,000	4,000	4,750	200
資料関係費	11,000	6,000	3,585	5,000	5,700	1,200
美術品保存費	7,205	5,000	6,000	4,300	11,838	2,200
広報事業費	13,300	10,000	11,075	9,277	8,333	6,439
美術館広報費	8,400	7,750	5,000	5,000	4,750	2,344
販売促進費等	4,900	2,250	6,075	4,277	3,583	4,095
その他	48,316	2,704	3,645	4,239	2,015	2,816
合計①	434,631	267,464	294,262	261,995	221,784	180,387
使用料	0	35,000	25,752	47,177	13,293	17,881
一般財源	434,631	232,464	268,510	214,818	208,491	162,506

(単位：千円)

項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
展覧会事業費	79,777	92,744	96,269	102,780	103,667	82,000	87,328	95,959	119,728
企画展示費	75,808	88,775	92,300	99,443	100,380	79,600	85,000	93,631	117,500
常設展示費	3,969	3,969	3,969	3,337	3,287	2,400	2,328	2,328	2,228
教育普及費	5,000	4,500	4,500	4,000	4,000	3,982	3,385	3,385	3,385
調査研究費	1,100	1,100	5,150	955	1,605	1,584	1,751	1,851	1,451
情報提供事業費	600	540	540	0	0	0	0	0	0
美術品費	1,964	2,426	2,310	1,964	2,310	0	0	0	0
美術品保存修復費	2,200	2,000	2,000	1,800	8,733	5,050	3,129	1,129	4,489
その他	875	800	179	1,700	1,000	800	590	590	590
合計①	91,516	104,110	110,948	113,199	121,315	93,416	96,183	102,914	129,643
使用料	48,931	60,292	52,300	59,750	60,330	53,640	49,761	34,355	30,776
助成金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	42,585	43,818	58,648	53,449	60,985	39,776	46,422	68,559	98,867

(2) 管理・運営費

(単位：千円)

項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
施設管理費	240,997	259,206	246,003	241,316	236,304	217,040
建物管理運営費	74,621	72,239	72,152	70,994	67,873	61,731
警備委託	43,274	38,226	38,000	36,612	36,610	35,356
清掃委託	30,000	28,766	30,000	29,711	28,766	25,484
光熱水費	90,000	107,032	97,772	97,761	95,095	89,852
消耗品費等	3,102	12,943	8,079	6,238	7,960	4,617
運営費	49,840	40,297	37,633	46,471	50,247	37,781
受付員経費等	22,241	18,857	16,737	18,037	17,787	8,290
管理運営費	11,000	11,000	10,247	10,237	8,949	7,518
その他	16,599	10,440	10,649	18,197	23,511	21,973
その他	32,943	10,831	15,577	15,441	14,837	16,230
合計②	323,780	310,334	299,213	303,228	301,388	271,051
使用料	181,928	118,235	110,942	77,232	76,889	72,642
一般財源	141,852	192,099	188,271	225,996	224,499	198,409

■ 予算概要

■ 島根県立美術館の予算概要

(単位：千円)

項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
指定管理事業									
設備等保守管理									
警備業務	256,000	256,000	256,000	260,009	259,000	264,000	261,000	262,000	261,000
清掃業務									
光熱水費									
修繕費等									
その他運営費等	29,901	23,451	22,868	21,675	21,699	21,971	21,860	147,237	217,999
設備修繕費	5,120	528	0	0	0	0	0	124,492	195,982
管理運営費	11,601	11,123	10,969	10,904	10,904	10,200	9,889	9,696	9,066
その他	13,180	11,800	11,899	10,771	10,795	11,771	11,971	13,049	12,951
合計②	285,901	279,451	278,868	281,684	280,699	285,971	282,860	409,237	478,999
使用料	9,275	11,190	9,448	10,266	9,489	9,444	8,734	9,730	8,795
一般財源	276,626	268,261	269,420	271,418	271,210	276,527	274,126	399,507	470,204

(3) 支出合計

(単位：千円)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
合計①+②	758,411	577,798	593,475	565,223	523,172	451,438
使用料	181,928	153,235	136,694	124,409	90,182	90,523
一般財源	576,483	424,563	456,781	440,814	432,990	360,915

(単位：千円)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
合計①+②	377,417	383,561	389,816	395,998	402,014	379,387	379,043	512,151	608,642
使用料	58,206	71,482	61,748	70,016	69,819	63,084	58,495	44,085	39,571
一般財源	319,211	312,079	328,068	325,982	332,195	316,303	320,548	468,066	569,071

2. 収入実績

(単位：千円)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
企画展	164,475	102,643	91,496	49,488	63,932	49,702
コレクション展	13,014	16,138	14,973	13,057	10,950	8,102
パスポート	24,045	29,139	23,584	20,584	15,495	14,472
その他	8,003	7,708	7,461	8,091	6,333	7,298
合計③	209,537	155,628	137,514	91,220	96,710	79,574

(単位：千円)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
企画展	35,768	38,778	31,581	38,700	63,365	30,862	29,802	14,843	16,207
コレクション展	8,272	9,284	6,411	6,082	11,455	7,835	4,885	4,846	5,274
パスポート	8,859	17,424	14,254	14,968	18,599	14,717	13,722	11,734	10,405
その他	6,901	7,813	7,406	8,636	7,883	7,064	8,915	10,851	9,321
合計③	59,800	73,299	59,652	68,386	101,302	60,478	57,324	42,274	41,207

3. 収入／支出

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
③／①	0.482	0.582	0.467	0.348	0.436	0.441
③／①+②	0.276	0.269	0.232	0.161	0.185	0.176

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
③／①	0.653	0.704	0.538	0.604	0.835	0.647	0.596	0.411	0.318
③／①+②	0.158	0.191	0.153	0.173	0.252	0.159	0.151	0.083	0.068

■ 作品収集状況

所蔵作品点数

		平成21年度末まで		平成22年度末まで		平成23年度末まで		平成24年度末まで		平成25年度末まで	
		作品	資料	作品	資料	作品	資料	作品	資料	作品	資料
絵画	西洋絵画	42	0	42	0	42	0	42	0	42	0
	国内油彩	219	667	220	667	221	667	224	668	226	670
	日本画	213	2	213	2	214	2	215	2	217	2
	版画	1,223	44	1,223	44	1,223	44	1,224	44	1,234	45
	水彩	12	2	13	2	14	2	14	2	14	2
	素描	109	0	109	0	109	0	109	0	110	0
工芸	工芸	250	3	250	3	390	3	406	3	406	3
	写真	1,320	3	1,320	3	1,320	3	1,320	3	1,320	3
	彫刻(野外彫刻8点を含む)	78	102	78	102	78	102	81	106	81	106
	書跡	15	0	15	0	15	0	15	0	15	0
	計	3,481	823	3,483	823	3,626	823	3,650	828	3,665	831

収集作品・資料

平成21年度(107点)					
分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	
日本画	長沢 蘆雪	象と牛図屏風	寛政年間後期	紙本墨画・屏風(六曲一双)	購入
写真	塩谷 定好	村の鳥瞰	1925(大正14)年	ゼラチン・シルバー・プリント	購入
国内油彩	矢田 清四郎	築地松風景	1970(昭和45)年	油彩・カンヴァス・額装	寄贈
彫刻	前田 哲明	Untitled92-A.B.C	1992(平成4)年	アルミニウム合金	寄贈
オブジェ	秋山 陽	無題 T-0812	2008(平成20)年	黒陶	寄贈
資料	清水 九兵衛	清水九兵衛資料(マケット91点・図面8点)	1982~2006(昭和57~平成18)年	石膏・アルミ・木等	寄贈
資料	草光 信成	魚図	不詳	紙本墨彩・軸装	寄贈
資料	三上 知治	水彩 2点(「中海」・「れんげ咲く田野」)	1945(昭和20)年(2点ともに)	水彩・紙	寄贈
平成22年度(2点)					
国内油彩	森田 茂	松江城	不詳	油彩・カンヴァス額装	寄贈
水彩	ハーバート・ヒュー=スタントン卿	暁の松江、大山を遠くに望む	1923年	水彩・紙・額装	寄贈
平成23年度(143点)					
日本画	宮廻 正明	天水(雲)	2010(平成22)年	紙本着色・額装	寄贈
国内油彩	草光 信成	花	1960(昭和36)年	油彩・カンヴァス・額装	管理替
水彩	喜多村 知	北国海辺	1973(昭和48)年頃	水彩・紙・額装	管理替
工芸	大谷 敏到	四季草花蒔絵棗他計25点	昭和時代	漆芸・木	寄贈
工芸	原 清	鉄釉馬文大壺他計115点	昭和~平成時代	陶芸・陶土	寄贈
平成24年度(29点)					
日本画	宮廻 正明	松影楽(しょうせいらく)	2004(平成16)年	紙本着色・額装	寄贈
国内油彩	青山 襄	静物	1970~1979(昭和45~54)年	油彩・カンヴァス	寄贈
国内油彩	青山 襄	小道具	1976(昭和51)年	油彩・カンヴァス	寄贈
国内油彩	青山 襄	静物	1981(昭和56)年	油彩・カンヴァス	寄贈
彫刻	加藤 景雲	軍鶏	1894(明治27)年	木彫・額装	寄贈
彫刻	加藤 景雲	田中常太郎・ヨシ像	1939(昭和14)年	木彫	寄贈
彫刻	加藤 泰三	山	1940(昭和15)年	木彫	寄贈
版画	加藤 泰三	山頂	昭和前期	木版・紙	寄贈
工芸	加藤 泰三	葉巻箱	昭和前期	木彫	寄贈
工芸	船木 浅太郎	色絵蓋物	大正~昭和初期	陶芸・陶土	寄贈
工芸	船木 道忠	白釉柳紋様花瓶	1945~1954(昭和20年代)	陶芸・陶土	寄贈
工芸	三原 研	妬器花器のほか計13点	平成時代	陶芸・陶土	寄贈
資料	青山 襄	スケッチブック4冊、スケッチ67枚	制作年不詳	紙・鉛筆・ペン・色鉛筆・水彩	寄贈
資料	加藤 景雲	童子弄風琴像	1900(明治33)年頃	石膏	寄贈
資料	加藤 景雲	「鯉」線彫四角板	1934(昭和9)年	木彫	寄贈
資料	加藤 景雲	「鯉」線彫 袖師焼茶碗	1937(昭和12)年	線彫・陶土	寄贈
資料	加藤 景一	風景(仮題)	1932(昭和7)年	油彩・カンヴァス・額装	寄贈
平成25年度(18点)					
日本画	堀江 有聲	春秋花鳥図	明治時代	絹本着色・軸装(双幅)	寄贈
日本画	梅原 龍三郎	做萬曆赤繪老子図	1947(昭和22)年	岩絵具・油彩・紙	寄贈
国内油彩	藤田 嗣治	仏印風景	1943(昭和18)年	油彩・カンヴァス	寄贈
国内油彩	和田 英作	薔薇	1950(昭和25)年頃	油彩・カンヴァス	寄贈
版画	小林 敬生	遺されたものたち-No.4-	1977(昭和52)年	木口木版・椿・紙	寄贈
版画	小林 敬生	遺された部屋-No.6・A1-	1978(昭和53)年	木口木版・椿・紙	寄贈
版画	小林 敬生	遺された部屋-No.6・B1-	1978(昭和53)年	木口木版・椿・紙	寄贈
版画	小林 敬生	遺された部屋-No.8-	1978(昭和53)年	木口木版・黄楊・椿・紙	寄贈
版画	小林 敬生	午後の鎮魂歌-No.1-	1980(昭和55)年	木口木版・黄楊・紙	寄贈
版画	小林 敬生	午後の鎮魂歌-No.2-	1980(昭和55)年	木口木版・黄楊・紙	寄贈
版画	小林 敬生	漂泊-No.4-	1981(昭和56)年	木口木版・黄楊・椿・紙	寄贈
版画	小林 敬生	白い朝又は早暁-01・A-	2001(平成13)年	木口木版・Lemon-wood・紙	寄贈
版画	小林 敬生	白い朝又は早暁-02・A1-	2002(平成14)年	木口木版・Lemon-wood・紙	寄贈
版画	小林 敬生	白い朝又は早暁-群舞・05D-	2005(平成17)年	木口木版・Lemon-wood・紙	寄贈
素描	小茂田 青樹	デッサン松江市外	1920(大正9)年	茶コッチ・紙	寄贈
資料	石橋 和訓	竹に鶏図	制作年不詳	純本墨画淡彩・軸装	寄贈
資料	須田 国太郎	隠岐スケッチ(スケッチブック1冊、スケッチ19枚)	1951(昭和26)年	木炭・紙	寄贈
資料	小林 敬生	版画集「日本之社会運動・明治」のうち6点	1967(昭和42)年	版目木版・油性インク・楕円ペーパー・パネル3枚	寄贈

■ミュージアムパスポート会員の入会状況

■ミュージアムパスポート会員とは

観覧の回数にかかわらず購入日から起算して1年間を通じて観覧できる年間観覧券の購入者。

■ミュージアムパスポート料金

開館～平成16年3月

一般	大学・高校生	小・中学生
5,000円	3,000円	1,500円

平成16年4月～平成18年3月

一般	大学生	小・中・高校生
5,000円	3,000円	1,500円

平成18年4月～

一般	大学生	小・中・高校生
3,000円	1,800円	900円

■ミュージアムパスポート会員特典

- ・美術館ニュース（年4回発行）の送付
- ・パスポート会員の同伴者（2名まで）の企画展観覧料の割引（半額）
- ・ミュージアムショップ及び館内レストラン（ベッキオロッソ）での利用料金の5パーセント割引
- ・提携美術館の入場料割引
- ・入館ポイントでドリンクサービス

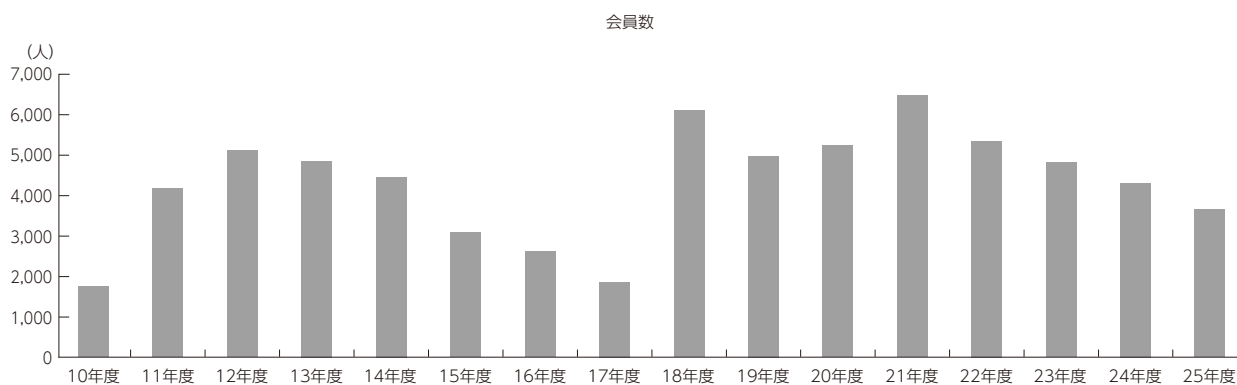
（平成25年度末現在）

■ミュージアムパスポート会員推移

（単位：人）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
会員数	1,744	4,159	5,100	4,844	4,447	3,075	2,598	1,853	6,100	4,970	5,227	6,451	5,329	4,820	4,308	3,627

注：会員数は、各年度末の現存会員数である。



指定管理業務

■島根県立美術館指定管理業務仕様書

施設管理業務項目

業 務	管理項目	業務内容
施設管理業務	建物管理	「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく維持管理業務
		防火管理
		危険物管理
		消火設備等点検・管理 電気・機械設備運転管理
	設備等保守点検	空調設備保守点検
		空調設備保守点検（薬液装置）
		エレベーター保守点検
		自動扉保守点検
		防火シャッター保守点検
		舞台吊り物等保守点検
		展示室照明調光装置保守点検
		電話設備保守点検
非常用電源設備保守点検		
ホール・講義室映像システム保守点検		
AVシステム保守点検	ホール舞台照明設備保守点検 施設情報管理システム保守管理 映像ライブラリー・双方向CATV・監視カメラシステム保守点検 美術情報システム保守点検 美術館情報システム運用支援	
警備業務	駐車場管理	駐車場管理システム保守点検
	常駐有人警備	中央管理室業務、出入り管理、巡回点検、扉等の開閉、緊急対応業務、駐車場障害対応
	機械警備	防犯 火災・設備監視、非常通報
	駐車場警備・交通誘導	美術館駐車場の施設及び設備機器の警備、美術館前庭に進入した車両の誘導等
清掃業務	日常清掃	
	定期清掃	
	特別清掃	
	廃棄物処理	廃棄物の処理
植栽管理	植栽管理	樹木、芝生の管理
施設修繕		

施設運営業務項目

業 務	運営項目
ギャラリー、ホール等の使用の許可に関する業務	
貸館業務	予約受付
	使用承認、使用料徴収
	事後検査
	月間予約状況表作成
	各種申請書等の作成
	利用者案内資料の作成
	設備・機器等管理
使用料及び観覧料の徴収に関する業務	
使用料徴収業務	貸館及び駐車場の使用料徴収・保管・収納
観覧料徴収業務	当日窓口徴収 前売り券等 県への納付
使用料等還付業務	
総合案内等に関する業務	
総合対応業務	総合受付：カウンター業務 総合受付：電話・来館者対応業務
受付・監視業務	企画展受付
	企画展監視
	常設展示室受付
	常設展示室監視 アートライブラリー
広報・利用促進に関する業務	
広報業務	誘客・広報計画
	企画展・常設展・普及事業広報
	美術館広報
	ホームページ、メールマガジン管理運営
利用促進業務	観覧券の販売促進
	パスポート会員管理
	利用促進
	見学者案内
	案内資料等作成 館内表示板等作成
その他の業務	
業務報告	
管理規程	
連絡調整	
経費・共益費管理	施設管理経費等支払 光熱水費徴収
文書事務	文書管理 文書收受・発送
駐車場管理業務	
その他の業務	

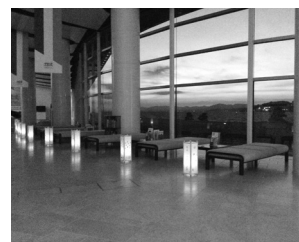
■ 指定管理業務

■ 指定管理者事業 (抜粋)

平成21年度	
夕日コンサート	4月4日、5月2日
七夕コンサート	7月4日
夕涼みサービス	7月11日～19日
オープニングセレモニーご招待 (3回実施)	8月5日、10月1日、3月5日
夏休みファミリーデー	8月9日
ハッピーファミリーデー	9月6日
落語会「桂米團治」	10月24日
文化の日ファミリーデー	11月3日
アートクリスマス2009	12月2日～25日
クリスマスコンサート	12月23日
アート年賀状2010	1月2日～11日
ミュージアムフェスティバル2010	2月7日
バレンタイン・コンサート	2月14日
パルーンで遊びまショー !!	3月7日
無料託児サービス	3月14日
平成22年度	
オープニングセレモニーご招待 (5回実施)	4月21日、6月4日、7月30日、9月23日、2月25日
「ナイトミュージアム・the怪談」	5月7日
ロビーコンサート「サクソスの魅力 サクソス・アンサンブルの調べ」	6月20日
七夕コンサート「七夕チェンバロコンサート フランドルの星に導かれて」	7月4日
トワイライトミュージアム2010	6月20日～7月7日
星に願いを2010	6月30日～8月9日
「六子ミニコンサート」	8月21日
「六子トークショー in ミュージアム」	8月21日
「ナイトミュージアム the「火の誓い」」	10月1日
ロビーコンサート「琴とギターのスーパーパフォーマンス」	10月17日
秋のファミリー感謝デー	10月18日
アートクリスマス2010	12月1日～12月25日
クリスマスコンサート	12月23日
アート年賀状2011	1月2日～10日
バレンタインコンサート「ヴァイオリンとハーブ 愛の贈り物」	2月11日
鷺舞	3月6日
ミュージアムフェスティバル2011	3月13日
ロビーコンサート「スプリング・ハズ・カム 春を呼ぶメロディ」	3月27日
平成23年度	
オープニングセレモニーご招待 (5回実施)	4月22日、6月10日、7月29日、9月17日、2月24日
「ナイトライブ in ミュージアム アンソン meets ジャズ」	5月14日
トワイライトミュージアム2011	6月22日～8月31日
七夕イベント「星に願いを2011」	7月1日～8月8日
七夕コンサート「琵琶と語りで聴くいにしへの恋ものがたり」	7月3日
「ナイトミュージアム The 源氏物語」	7月8日
ロビーコンサート「オカリーナコンサート 夏の風に吹かれて」	8月28日
美術館キネマ「ローマの休日」	9月18日
秋のスペシャルイベントデー	10月23日
ロビーコンサート「エクランサンプルコンサート 奏でる祈り心から心へ」	11月3日
アートクリスマス2011	12月7日～25日
クリスマスコンサート	12月18日、12月24日
アート年賀状2012	1月2日～9日
新春和服割引	1月2日～9日
ロビーコンサート「新春・琴アンサンブルコンサート」	1月15日
ミュージアムフェスティバル2012	3月18日
平成24年度	
オープニングセレモニーご招待 (4回実施)	6月8日、7月27日、9月29日、2月15日
星に願いを2012	7月4日～8月6日
七夕ロビーコンサート「二胡コンサート」	7月7日
トワイライトミュージアム2012	6月21日～9月17日
トワイライトコンサート「民(たみ)のうた」	8月18日
野外彫刻ガイドツアー (5回)	9月16日、10月8日、10月21日、(11月11日は雨天のため中止)、3月18日
美術館キネマ「哀愁」	10月20日
ロビーコンサート「山陰フィルハーモニー弦楽アンサンブル」	11月4日
美術館キネマ「我が道を行く」	11月25日
アートクリスマス2012	12月12日～25日
クリスマスコンサート	12月24日
美術館キネマ「カサブランカ」	1月14日
「新春初笑い! 美術館落語会」	1月20日
ロビーコンサート「フラメンコギターコンサート スペインの風に乗って」	3月10日
美術館キネマ「誰がために鐘は鳴る」	2月17日
美術館キネマ「ローマの休日」	3月20日
平成25年度	
オープニングセレモニーご招待 (3回実施)	4月26日、7月5日、9月27日
野外彫刻ガイドツアー (4回)	5月3日、5月6日、10月27日、11月3日
母の日企画「青いカーネーション ムーンダスト」プレゼント	5月12日
ロビーコンサート「響きあう弦楽の調べ」	5月19日
美術館キネマ「ハムレット」	6月2日
美術館キネマ「巴里のアメリカ人」	7月14日
トワイライトミュージアム2013	6月21日～9月16日
トワイライトコンサート「パリの街角から」	7月27日
ミュージアムフェスティバル2013	8月25日
美術館キネマ「シャレード」	9月1日
アートクリスマス2013	11月27日～12月25日
クリスマスコンサート	12月22日
美術館キネマ「黄色いリボン」	1月26日
ミュージアムフェスティバル2014	3月23日
美術館キネマ「雨の朝巴里に死す」	3月30日



「ガイドツアー」



「トワイライトミュージアム」



「コンサート」

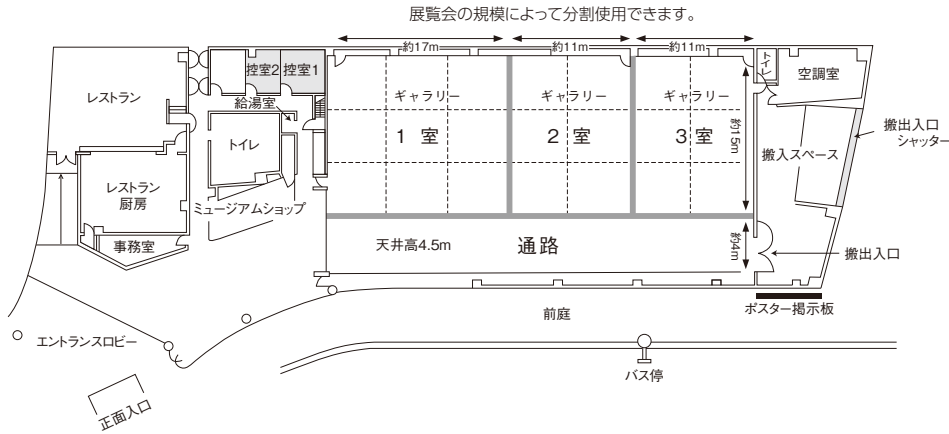


「ミュージアムフェスティバル」

■ ギャラリー利用状況

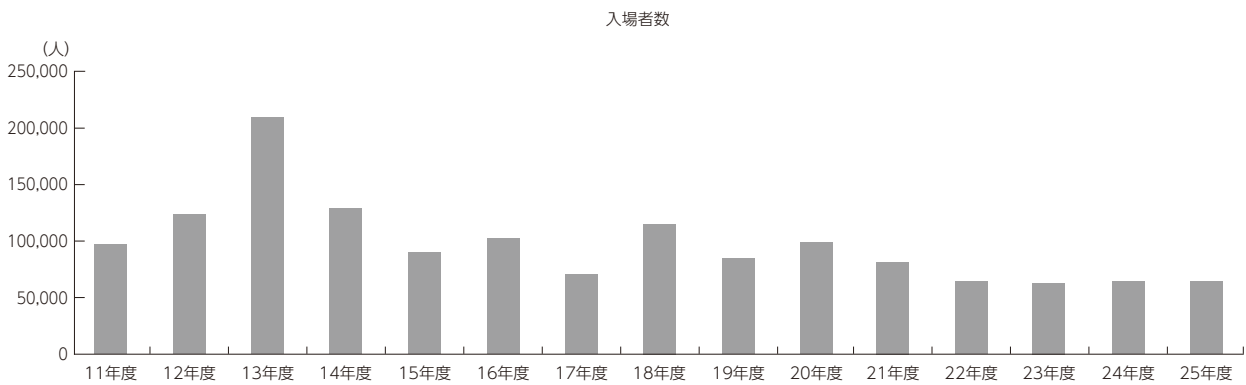
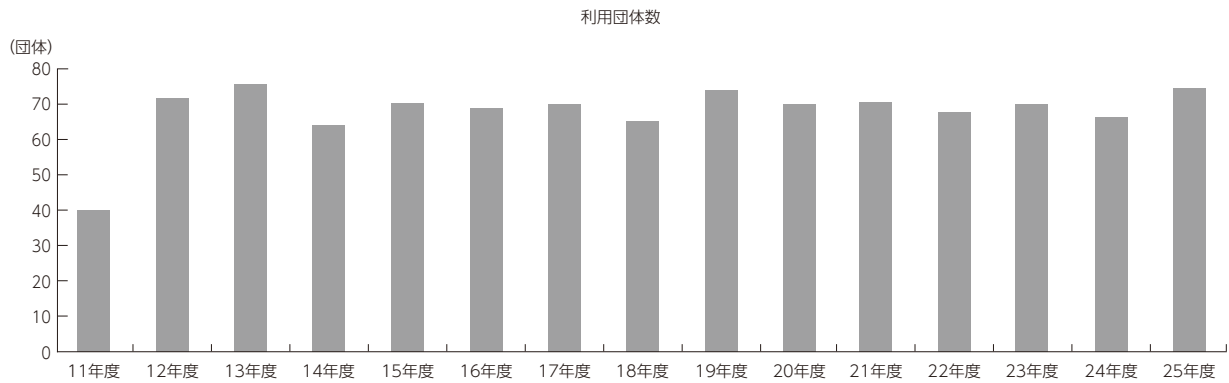
■ ギャラリーの目的

ギャラリーは本県の芸術文化の振興に寄与するため、主として美術に関する創作の発表および鑑賞の場として利用していただいております。



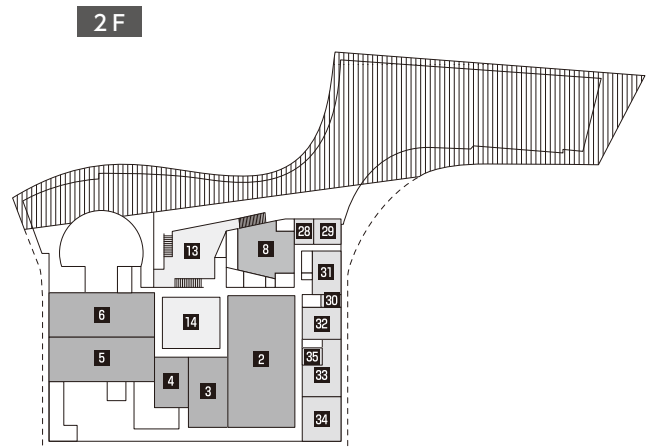
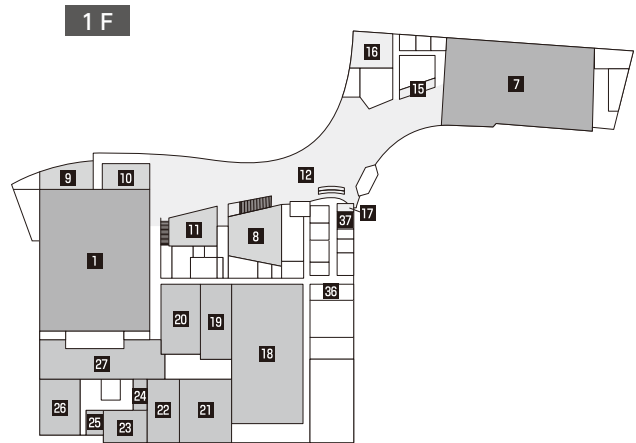
■ ギャラリー利用団体数、入場者数の推移

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用団体数	40 団体	72 団体	76 団体	64 団体	70 団体	69 団体	70 団体	65 団体	74 団体	70 団体	71 団体	68 団体	70 団体	66 団体	75 団体
入場者数	97,317人	123,287人	210,286人	128,562人	90,044人	102,371人	70,319人	115,088人	83,734人	99,494人	81,958人	64,981人	63,751人	64,236人	64,952人



■ フロア構成・部門別面積表

部 門		室 名	面積(m ²)
展示部門	1	企画展示室	1,153
	2	展示室1(絵画)	737
	3	展示室2(版画)	211
	4	展示室3(工芸)	163
	5	展示室4(写真)	360
	6	展示室5(彫刻)	378
	7	ギャラリー (小計)	860 (3,862)
教育普及部門	8	ホール	252
	9	アートスタジオ	104
	10	講義室	82
	11	アートライブラリー (小計)	109 (547)
サービス部門	12	エントランスロビー	1,310
	13	中2階ロビー	242
	14	2階ロビー	422
	15	ミュージアムショップ	32
	16	レストラン	99
	17	ロッカールーム (小計)	9 (2,114)
	収蔵部門		収蔵庫前室
18		第1収蔵庫	697
19		第2収蔵庫	156
20		第3収蔵庫	194
21		第4収蔵庫	234
22		企画保管庫	128
23		写真撮影室	100
24		修復室	32
25		燻蒸室	26
26		搬出入口	163
27		搬入荷解スペース (小計)	344 (2,187)
事務学芸部門	28	館長室	37
	29	応接室	50
	30	副館長室	19
	31	会議室	97
	32	事務室	89
	33	学芸室	116
	34	研究資料室	111
	35	AVコントロール室 (小計)	26 (545)
	管理部門	36	中央管理室
		休憩室	20
		清掃管理人控室	18
37		救護室・授乳室	16
		管理用ロッカー室 (小計)	23 (119)
電気機械系統		電気室	110
		発電機室	49
		機械室	186
		ACR1~11	680
		アートライブラリー機械室	27
		(小計)	(1,052)
その他		控室、倉庫、WC、廊下等	2,074
合計			12,500
		1階	8,127
		2階	4,373



■ 建築設備概要

■ 建築概要

建築物名称	島根県立美術館	
所在地	松江市神師町1-5	
敷地面積	14746㎡	
建築面積	9311.92㎡	
延床面積	12498.88㎡	
階数	地上2階	
最高高さ	15.5m	
構造種別	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	
建築主	島根県	
設計	株式会社菊竹清訓建築設計事務所	
監理	島根県松江土木建築事務所	
施工	建築	株式会社菊竹清訓建築設計事務所
	強電設備	鴻池組・松江土建特別共同企業体
	弱電設備	三和電工・一畑電設特別共同企業体
	展示照明設備	島根電工株式会社
	非常電源設備	松下電工株式会社
	空調設備	ヤンマーディーゼル株式会社
	給排水衛生設備	朝日工業社・山陰温調工業特別共同企業体
	エレベーター設備	新和設備工業株式会社
	設計監理	三菱電機株式会社
	備品整備	株式会社菊竹清訓建築設計事務所
情報システム	展示ケース	株式会社イトーキ
	展示可動パネル	株式会社クマヒラ
	絵画ラック	日本ファイリング株式会社
	図書室書架ラック	株式会社松文オフテック
	収蔵庫棚	株式会社玉屋
	特注家具	株式会社玉屋
	展示開放家具	株式会社えすすみ
	置型移動壁	株式会社松文オフテック
	設計監理	山陰中央テレビジョン放送株式会社
	大型映像システム	日本ビクター株式会社
ホール舞台照明設備	アールディエス株式会社	
施設管理系システム	富士通株式会社	
防犯(警備)システム	セコム山陰株式会社	
情報提供システム	松下電器産業株式会社	
双方向講座中継システム	日本電気産業株式会社	

■ 建築仕上

外部	屋根	チタン鋼 (t=0.8) フラットルーフ工法
	外壁	花崗岩(グリスベルラt=30) 乾式工法 パーナー一部本磨き アルミパネル (t=3) 1次電解発色 (スミトーン300)
内部	建具	アルミサッシュ (ステンカラー) 一部DPG工法
	高断熱複層ガラス一部フロート板ガラス	
	ロビー	床 : 大理石 (コハレベージュt=30) 水磨き 壁 : 大理石 (モカクリームt=25) 本磨き 石膏ボード ガラスクロス貼り エマルジョンペイント
	天井	アルミスパンドレル アクリルウレタン塗装
	展示室	床 : タイルカーペット (t=6.5) 壁 : 石膏ボード ガラスクロス貼り エマルジョンペイント 天井 : 石膏ボード エマルジョンペイント 一部岩綿吸音板
	収蔵庫	床 : プナフローリング (t=15) 壁 : グラスウール 調湿材 米杉樋部倉矧ぎ落込み (t=15) 天井 : グラスウール 調湿材 米杉本実 (t=15)

■ 機械設備概要

空調換気設備	熱源	空冷スクルーヒートポンプチャラー	100RT×1台
		直焚吸収冷温水機 (灯油焚、冷温水同時供給型)	210RT×2台
		空気調和機 (ユニット型、コンパクト型)	37系統
		冷却塔	210RT×2台
		換気送風機	16系統
		空冷ヒートポンプパッケージ	12系統
		ファンコイル	21台
		全熱交換器	15系統
		給気送風機	10系統
		排気送風機	46系統
給排水衛生設備	給水	排水送風機	5系統
		受水槽	24㎡
		給水ポンプユニット (上水給水系統)	1組
		給水ポンプユニット (雑用給水系統)	1組
		雑用水槽 (建築工事)	52㎡
	給湯	電気給湯器	12系統
		ガス給湯器 (厨房用)	2系統
	消火	ハロゲン化物消火設備 (展示室、収蔵庫、ギャラリー)	
		屋内消火栓 (2号消火栓) 50φ×140ℓ/min×64m×5.5kw	
		屋外消火栓100φ×8001/min×44m×15kw	
排水	排水ポンプ (自動交互運転)	2台×8ヶ所	
エレベーター設備	管理用エレベーター (1号機 乗用)		
	制御方式	油圧サイドブランチャー方式	
	操作方式	セレクトチブ・コレクチブ	
	積載荷重	1,000kg	15人乗
	定格速度	45m/min	
	扉開閉方式	2枚戸中央開き	
	停止箇所	1・2階 (2ヶ所)	
	客用エレベーター (2号機 展望用)		
	制御方式	油圧直結方式	
	操作方式	セレクトチブ・コレクチブ	
積載荷重	1,350kg	20人乗	
定格速度	30m/min		
扉開閉方式	2枚戸中央開き		
停止箇所	1・2階 (2ヶ所)		
搬出入用エレベーター (3号機 荷物用)			
制御方式	油圧サイドブランチャー方式		
操作方式	シングルオートマチックF (ADC付)		
積載荷重	4,000kg		
定格速度	30m/min		
扉開閉方式	2枚戸上開き		
停止箇所	1・2階 (2ヶ所)		
ホイストクレーン			
	昇降走行部	レール旋回部	
電 源	3φ 3w200v	1φ 200v	
電 動 機	昇降3.5kw		
	走行0.36kw		
速 度	昇降10m/分	8秒/90°	
	走行25m/分		
ストローク	MAX6000mm	90°	
ワイヤー	8φ×4水掛		
荷 重	MAX2000kg		
テーブルリフター			
型 式	3A-1085型		
積載荷重	MAX3000kg		
自 重	2500kg		
テーブルサイズ	3000×2540 (CPL-6)		
最低高さ	520mm (1FL-1000)		
揚 程	1500mm		
最高高さ	2020mm (1FL+500)		
上昇時間	約40秒/リフト		
下降時間	約40秒/リフト3000kg負荷時		
シリンダー	ラム型100φ×480st×6401	2本	
ポン プ	ギア型 PA-5L		
電 動 機	4P 3.7kw 1720rpm		
電 源	3φ 200v 60hz		
操 作	4PB O、1000、1500、S		
落下防止バルブ付			
3面セーフティーバー (スカート250mm付)			
下限クッションバルブ			
長期保持用油圧ロック付 (1FL=1000レベル)			
吊フック			
方 式	電動昇降ワイヤー巻取式		
積載荷重	MAX300kg		
速 度	約6m/分		
電 動 機	3φ 200v 1.5kw		
吊 数	1点吊		
ワイヤー	9φ		
数 量	2式 (常設展ロビー、中2階ロビー)		

■ 建築設備概要

■ 備品概要

展示ケース	施工型	個別間接空調方式	
		電動フラット扉	
	置型	紫外線防止型蛍光灯 (スポットライト付)	
		エアタイト方式	
		半自動フラット扉	
		紫外線防止型蛍光灯 (スポットライト付)	
		No1 (3200w×1120d×2800h)	6台
展示パネル	ハンガーレール	アルミ押し出し型材	
		パネル走行方式	クロス走行方式
	パネル設置	下部圧接固定方式	
	パネル仕上げ	F1合板 ガラスクロス貼り EP塗装	
	設置枚数	企画展示室	39枚
		展示室1	20枚
		展示室2	14枚
展示室5		6枚	
ギャラリー		37枚	
絵画ラック	置型移動壁	L (3200w×1200d×2800h)	31台
		L (3200w×1200d×3400h)	16台
	架台吊下げ式	W1 (2760w×450d×3025h)	12台
		W2 (3000w×450d×3025h)	32台
		W3 (3900w×450d×3025h)	32台
		W4 (4200w×450d×3025h)	36台

■ 電気設備概要

強電設備	電力引込	3相3線6.6KV 1回線受電地中引込 将来予備線引込対応	
		受変電	屋内キュービクル式受配電盤
	非常電源	変圧器容量	2650KVA (3相1750KVA単相900KVA)
		契約電力	950KVA
		高調波対策コンデンサー設置 (高圧、変圧器2次側)	
		発電機	ガスタービン機関6.6KV500KVA1台
		出力	600PS以上
		始動方式	セルモーター電気式
		燃料	灯油
		非常時10時間以上運転可能	
蓄電池	シール型効率放電用鉛蓄電池 MSE-200Ah54セル		
無停電	定格容量30KVA 2次側単相3線210V/105V		
電源装置	運転方式 常時インバーター運転		
中央監視	受変電	グラパネ・空調、衛生 CRT卓 照明制御盤、	
	複合防災CRT卓	セキュリティ監視卓 (ITV、防犯、	
	カードゲート)		
照明	エレベーター監視、身障者表示監視他		
	表参照		
弱電設備	電話	デジタル電子交換機	
	放送	INSネット64・1500構築機能、館内PHS機能付	
テレビ共聴	非常・業務兼用防災アンパ、容量360W+120W		
	回線数30局、デジタルミュージックチャイム、		
インターホン	CD-BGMプレーヤー、カセットデッキ、		
	AM/FMチューナー等機能組込		
障害者表示	遠隔用マルチリモコン1台		
	ヘッドエンド装置 (双方向、片方向供)		
難聴誘導	BS/CSアンテナ、CATV受信 (山陰ケーブルテレビ		
	ジョン)		
電気時計	親時計1回線、液晶式禁煙表示付休憩時間時計 (ホール)		
	インターホン	保守系インターホン親子式24局	
	業務系インターホン相互式 6局		
	呼出し用 1セット		

■ ホール設備

映像	フロント投影式ハイビジョンプロジェクター
	250インチスクリーン (張込式 電動開閉カットマスク共)
音響	移動操作卓、映像収録卓、映像機器架、ハイビジョン書画装置
	ハイビジョン静止画再生装置、ハイビジョンLD、ミュージスLD、W-VHS VTR、DVD、ハイビジョンテロップ、BS/CSチューナー
舞台照明	リモコンカメラ2台、移動型カメラ1台、35mmスライド映写機2台
	自動上映プログラムによる無人上映システム
音響	プロセニアム、カラム、ステージフロント、サラウンド、ハネ返り、
	ステージモニター、及び運営系スピーカー
音響	デジタルオートミキサー、メインミキサー、音響機器架、CDプ
	レーヤー、MDプレーヤー、カセットデッキ、ワイヤレス受信機4波、
音響	手動3点吊マイク1式、エアームニターマイク1式、ワイヤレスマイ
	ク4本、スピーチマイク7本、インカム設備
音響	自動上映プログラムによる無人上映システムに連動
	ボーダーライト1列、サスペンションライト1列、アッパーホリゾン
音響	トライト3色1列、ローアホリゾントライト3色1列、シーリングラ
	イト1列、フロントサイドスポットライト上・下各3段
音響	フロアコンセント6回路
	向上用各種昇降装置1式
音響	電源容量75kVA、舞台用調光器3kW×33台、客席用調光器
	2kW×9台
音響	調光レベルメモリ310シーン
	自動上映プログラムによる無人上映システムに連動

■ 講義室設備

映像・音響	フロント投影式ハイビジョンプロジェクター (電動昇降式)
	120インチスクリーン (張込式電動開閉カットマスク共)
映像・音響	移動操作卓、映像機器架、音響機器架、ハイビジョン書画装置
	ハイビジョン静止画再生装置、ハイビジョンLD、ミュージスLD
映像・音響	W-VHS VTR、DVD、BS/CSチューナー
	35mmスライドコンバータ、16mmフィルムコンバータ
映像・音響	メイン、センター、サラウンド、天井の各スピーカー
	ワイヤレスマイク2本、スピーチマイク2本
映像・音響	その他
	電動昇降式ホワイトボード、電動ロールブラインド

■ 情報設備

映像ライブラリ	ハイビジョンブース (ハイビジョン番組視聴) 2ブース
	ビデオブース (既存ソフト視聴) 2ブース
映像ライブラリ	VODサーバ、MPEGエンコーダ設備、ノンリニア動画編集設備
	VOD端末 (ホール、講義室、CATV送出用)
映像ライブラリ	ハイビジョンソフト視聴ワゴン
	来館者向け美術作品情報検索端末 (ハイビジョン) 2台
美術作品情報	美術作品情報データベース
	外部情報交流システム (WWWサーバ)
双方向CATV	BSおよびデジタルCS対応ヘッドエンド設備
	ロビー端末 (来館者向け情報提供) 3台
双方向講座中継	ホール大型映像、監視カメラ、施設情報管理、映像ライブラリ、
	及び双方向講座中継システムと接続
双方向講座中継	テレビ会議装置、遠隔教育支援用映像表示装置 (CDPS)
	映像送出卓、移動型ワゴン (上り変調器、移動型カメラコン
施設管理	トローラ搭載)
	館内双方向CATVと接続
施設管理	施設情報管理システム、トラフィックセンサ

※平成11年時点

■ 建築設備概要

1. 展示保存環境

(1) 空気調和

* 温湿度の設定は変更可能

区分		企画展示室	展示室1～5	第1～第3収蔵庫、前室	第4収蔵庫	企画保管庫
設定温度 (℃)	夏季	24～25	24～25	通年22	通年20	通年18～25
	冬季	22	22			
設定湿度通年		45～65%	55%±5	55%±5	50%	45～65%

(2) 照 明

企画展示室	間接蛍光灯ベース照明(高演色紫外線防止ランプ32W) 展示照明 ハロゲンスポットライト及びウォールウォッシャーユニット ライティングダクト用ハロゲンスポットライト 昼光利用部分蛍光灯人工照明(高演色紫外線防止ランプ32W)
展示室1	間接蛍光灯ベース照明(高演色紫外線防止ランプ32W) 展示照明 ハロゲンスポットライト及びウォールウォッシャーユニット ライティングダクト用ハロゲンスポットライト、LEDライト
展示室2 展示室3	間接蛍光灯ベース照明(高演色紫外線防止ランプ32W) 天井埋込型ハロゲンベース照明 展示照明 ライティングダクト用ハロゲンスポットライト
展示室4	間接蛍光灯ベース照明(高演色紫外線防止ランプ32W) 展示照明 ハロゲンスポットライト及びウォールウォッシャーユニット ライティングダクト用ハロゲンスポットライト
展示室5	間接蛍光灯ベース照明(高演色紫外線防止ランプ32W) 展示照明 ライティングダクト用ハロゲンスポットライト

調光装置

企画展示室	白熱灯用2KW97回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW25回路 照明調光操作パネル ワイヤレス装置
展示室1	白熱灯用2KW85回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW9回路 照明調光操作パネル ワイヤレス装置
展示室2～5	白熱灯用2KW94回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW22回路 照明調光操作パネル ワイヤレス装置
ギャラリー	白熱灯用2KW28回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW30回路 照明調光操作パネル3面 ワイヤレス装置

昼光利用装置

企画展示室	自然光/人工光制御装置 電動ルーバー装置	外光照度センサー4セット 調光装置連動
-------	-------------------------	------------------------

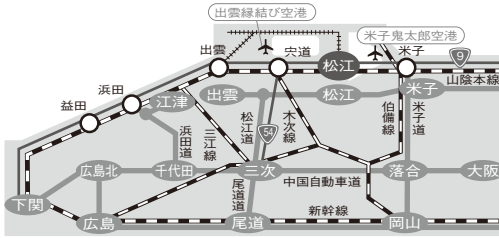
(3) 展示室仕様

室名	有効最大壁長 (固定+可動)	天井高 (展示面)	ケース長 (有効)	ケース面積 (有効)	積載荷重 (地農用)	床材
企画展示室	190.0m	4.5m	66.5m	79㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室1	160.7m	4.5m	46.3m	55㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室2	43.5m	3.0m	34.2m	21㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室3	—	3.0m	31.2m	24㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室4	69.5m	4.5m	—	—	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室5	69.8m	4.5m	15.5m	18㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
ギャラリー	355.9m	4.5m	—	—	210kg/㎡	ゴムタイル

2. セキュリティ設備

防 火	複合受信機GR型集中監視 表示方式CRT20インチ付操作卓 表示回線124 (自火報、防火戸、シャッター、防排煙、屋内消火栓(2号)、屋外消火栓、 ハロン消火、ガス他) 感知器自動点検機能付 副受信機
防 犯	機械警備システム一式 (カードによる入出管理、監視カメラ、防犯センサ、絵画センサ)

■ 利用案内



- 開館時間** 10月～2月 10:00～18:30
3月～9月 10:00～日没後30分
(展示室への入場は閉館時刻の30分前まで)
- 休館日** 毎週火曜日
(火曜日が祝日の場合は開館し、翌平日を休館日とします。)
年末年始 (12月28日～1月1日)
※但し、企画展の開催日程に合わせて休館日を変更する場合があります。
- 観覧料** コレクション展 () 内は20名以上の団体料金
一 般：300 (240) 円
大 学 生：200 (160) 円
高 校 生 以 下 は 無 料
企画展については展覧会ごとに定めます。
◎コレクション展と企画展とを同日に観覧する場合は、コレクション展の料金が半額となります。
◎小中高生 (引率者を含む) の学校教育活動での観覧は無料 (事前に美術館にご連絡ください)。
◎身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方およびその付添人は無料。
- 駐 車 場** 利用時間 8:00～21:30
料 金 3時間まで無料。以降1時間ごとに100円。
- 交通案内** ◇JR松江駅より徒歩15分
◇JR松江駅より松江市営バス南循環線内回り6分、「県立美術館前」下車
(観光ループバス「レイクライン」も美術館前に停車します。)

〒690-0049 島根県松江市神師町1-5
TEL:0852-55-4700(代表)
FAX:0852-55-4714
URL:<http://www.shimane-art-museum.jp>
E-mail:sam@pref.shimane.lg.jp

※平成28年時点

島根県立美術館のあゆみ 2009-2014

平成28年3月31日発行

編集・発行：島根県立美術館 ©2016

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5

TEL：0852-55-4700